

卒業記念文集

平成25年度9期生

～すばらしき仲間たち～



さいたま市シニアユニバーシティー

岩槻校学友会

目 次

学友会会長挨拶			P
いつまでも“イキイキ・ワクワクと”	会 長	羽 廣 ○ ○	1
学友寄稿			
シニア大学に入学して	1 班	新 井 ○ ○	2
出会いと感謝の一年	〃	大 塚 ○ ○	2
嬉しくてちょっと寂しい出来事	〃	蔵 部 ○ ○	3
シニア大学に入学して	〃	杉 山 ○ ○	3
シニア大学に入学して	〃	中 島 ○ ○	4
人生いろいろ	〃	宮 崎 ○ ○	4
シニア大学の思い出	〃	石 塚 ○ ○	5
黄昏素浪人の独白	〃	上林山 ○ ○	5
家庭菜園奮闘記	〃	関 谷 ○ ○	6
シニア大学に入学して	〃	増 山 ○ ○	7
シニアユニバーシティー岩槻校を顧みて	2 班	荒 井 ○ ○	8
シニア大学生活を振り返って	〃	岡 本 ○ ○	8
東京 ディズニーランドの思い出	〃	黒 川 ○ ○	9
今 思う事	〃	澄 川 ○ ○	10
2013年(平成25年度)	〃	中 山 ○ ○	10
親睦旅行 富岡製糸場見学に参加して	〃	森 ○ ○	10
古希のクラス会	〃	今 井 ○ ○	11
中国を旅して	〃	小 山 ○ ○	12
出会いを大切に	〃	瀧 田 ○ ○	12
薬との付き合い	〃	中 澤 ○ ○	13
「文化祭」ビフォー・アフター	〃	町 田 ○ ○	14
新しい事への挑戦シニア大学	3 班	石 塚 ○ ○	15
シニア大学に入学して	〃	梶 間 ○ ○	15
華めぐり	〃	小 暮 ○ ○	16
老化現象	〃	高 橋 ○ ○	16
朝の散歩は素晴らしい!	〃	羽 廣 ○ ○	17
シニア大の思い出	〃	山 根 ○ ○	18
この一年を顧みて	〃	荒 井 ○ ○	18
岩槻校の思い出	〃	酒 井 ○ ○	19
無 題	〃	中 山 ○ ○	19
人との出会い	〃	松 井 ○ ○	20
シニア大学において	4 班	井 上 ○ ○	21
シニア大学に入学して	〃	唐 澤 ○ ○	21
思い	〃	小 林 ○ ○	22
シニア大学をふり返って	〃	高 山 ○ ○	22
シニア大学に入学して	〃	濱 野 ○ ○	23
黒猫ポポの独り言	〃	横 田 ○ ○	23
八十二歳の挑戦と富岡製糸場	〃	江 原 ○ ○	24
史跡めぐり 平 林 寺	4 班	坂 本 ○ ○	24
全国一周ひとり旅	〃	浪 江 ○ ○	25

				P
渋沢栄一との出会い	4	班	蓮見	○ ○ 26
REDSサポ		//	皆川	○ ○ 26
シニア大学に入校して	5	班	岩吉	○ ○ 27
旅の思い出 (イタリア)		//	木村	○ ○ 27
シニアユニバーシティに入学して		//	駒宮	○ ○ 28
シニア大学での出会い		//	田中	○ ○ 29
がんばれ野球少年		//	深井	○ ○ 29
俳句		//	吉泉	○ ○ 30
久しぶりの学生生活		//	小野	○ ○ 30
一年を振り返って		//	澄川	○ ○ 31
文化祭を顧みて		//	前沢	○ ○ 32
まさかの「坂」	6	班	内田	○ ○ 33
秋になると思い出すこと		//	工藤	○ ○ 33
巨木に癒されて		//	佐々木	○ ○ 34
愛犬達との思い出		//	田村	○ ○ 34
可愛いおばあちゃん		//	増田	○ ○ 36
シニア大学と私		//	渡邊	○ ○ 36
学ぶ喜びの継続		//	清水	○ ○ 37
熟年のたわごと		//	清渡	○ ○ 37
シニア大学に入学して	7	班	遠藤	○ ○ 38
充実の日々		//	熊倉	○ ○ 38
シニア大学に入学して		//	渋谷	○ ○ 39
第2の青春		//	内藤	○ ○ 39
仲間そして絆		//	三品	○ ○ 40
シニア大学に入学して		//	渡部	○ ○ 41
シニア大学の思い出		//	樫木	○ ○ 41
タイ・バンコク旅行記		//	杉山	○ ○ 42
岩槻校の思い出		//	牧野	○ ○ 43
クラブ活動報告				
花散策クラブ紀行		部長	羽廣	○ ○ 44
史跡めぐりクラブ活動報告		幹事	酒井・関谷	45
ハイキング部活動報告		部長	松井	○ ○ 46
パソコンクラブ		部長	浪江	○ ○ 47
ゴルフクラブ活動記録		部長	町田	○ ○ 48
麻雀同好会活動報告		代表	前沢	○ ○ 49

岩槻校カリキュラム

文化祭(プログラム・写真)

親睦旅行(写真)

記念写真(班別)

編集後記

いつまでも“イキイキ・ワクワクと”・・・

会長 羽廣 ○○

風薫る爽やかな5月、市民会館おおみやに於いて、私達シニア大学岩槻校9期生76名が入学の運びとなりました。いくつに成っても学ぶことは楽しい事ですし、多くの仲間と絆を深められると言うことは嬉しいものです。シニアに成ってからの入学式に誰もがワクワク希望を抱いて式に臨まれたことでしょうか。男性は仕事から、女性は育児の忙しさから一段落され、これからは好きな事に打ち込める好期が到来したのです。

ここで、サミエル・ウルマンの有名な「青春 yang」と言う詩を紹介します。「青春とは人生のある時期の事ではなく心のありようを言う。強い意志、豊かな想像力、燃え上がる情熱、ひるまない勇氣、あくなき冒険心、そういうありようが青春なのだ。年を重ねただけで人は老いない。夢を失った時、初めて老いる。歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失った時、精神はしなびる」と・・・。そして慶応大学病院の講師である近藤 誠さんはこう言っておられます。いきなりボケの話で恐縮ですが、『一日中、一人ぼつねんとTVを見ていると、みるみるボケる。ボケない秘訣は、いくつに成っても、泣きなさい、笑いなさい。喜怒哀楽が強いほど脳は素晴らしく活性化して記憶の引き出しも増える。ボケを防ぐには脳トレドリルより喜怒哀楽のフリ幅を大きくして、いろいろな事に好奇心を持ち、おかしい時は大笑いし、悲しい時、許せない時は涙する。サミエル・ウルマンの言う「燃え上がる情熱」「あくなき冒険心」まで行かなくても「泣きなさい、笑いなさい」といつも自然に言い聞かせるだけで、脳の若さが全く変わってきます。五感をなるべく瑞々しく保ってしなびさせない事が脳を萎びさせない秘訣である』と。

御蔭様で私達は、たくさんの講師から学ばせて頂き、沢山の友達ができて、いろいろなクラブで楽しみ、学友会の行事には一致団結して真剣に取り組んだり、自ずと話し合いを沢山持たせていただきました。班毎のランチも楽しいものでした。

この機会を与えていただきましたNPO法人の皆様方には感謝申し上げます。又、学友会の方たちには沢山のご協力とご支援を頂きました事、本当に感謝です。心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

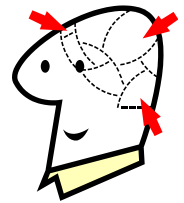


1 班

シニア大学に入学して

新井 ○○

子が巣立ち、気がつけば高齢者のひとりとなり、これからの余生を模索していた丁度その時、シニア大学の募集を知り申し込みをしたところ幸運にも入学が許され、楽しみにしていた入学式は出席できませんでしたが、その後は各専門の先生方からいろいろと教えて頂いています。長い人生を歩み、錆びてしまった頭も少しずつですが柔らかくなり、実りの多い授業を受けて毎日が充実しています。入学前はある程度の知識を自負していたのですが、丁寧に掘り下げられた内容の授業に改めて学習の大切さを再確認しています。次々と授業が進む中、季節はめぐり、秋の文化祭では恥ずかしながらも、踊り歌い楽しい思い出となりました。又、紅葉真只中のバス旅行は自然の織り成す雄大な景色を望む上州路。近く世界遺産にと期待されている富岡製糸工場の見学で、歴史に残る立派な建造物と緻密な機械を目の当りにして感動しました。これからも「あしたに繋ぐきょうのトレーニング」を課題にして、壊れゆくであろう頭脳に活を入れながら勉強していきたいと願っています。「学びの場」を与えて頂きまして感謝申し上げます。



出会いと感謝の一年

大塚 ○○

一度目の応募は見事にハズレ！ その年は散歩が日課でした。2年目にまた応募して運良く皆さんとお会い出来る葉書が舞い込んで来ました。残りの人生に役立つ講義も、遠足も、クラブ活動も、とても楽しい時間でした。

東証アローズは縁のない所だと思っていましたが、その後、新聞、ニュース番組等も以前より関心を持って世の中に遅れない人生をとりましたが、すでにのんびり人生に戻っています。クラブは花散策の一員にさせて頂き、出不精の私でしたが皆さんの後に付いて、あちこちに連れて行って頂き毎回楽しい日程でした。特に本土寺は花菖蒲も紫陽花も堪能出来、昼食でインド人シェフのインドカレーを食べ、目も、心も、お腹も満足の日でしたよ。

講義では悪徳商法の被害者にならない様にと願っています。認知症にならずピンシャンコロリ人生を目指せ！でもどうなりますか？。また普段出せない大声で歌えた音楽講座。笑って、笑って、もっと笑っての笑ヨガ。自分はまだと思っていたエンディングノート、等々本当に勉強になりました。皆々様本当に有難う御座居ました。



嬉しくてちょっと寂しい出来事

蔵部 ○○

私は月に3日ほど仕事をしている。電車で「お茶の水」まで出かけるが、その車中人生初めての出来事に遭遇。それは、かわいらしい女子高校生に席を譲られた事である。自分では若いつもり（若作り？）でいたが、女子高校生からしたら祖母の年齢である。当然といえば当然なのかもしれないが想定外の出来事にどう対応すべきか判断に迷った。現在は年齢を重ねて鈍感になっているが、若いころは勇気をだして声をかけても相手から遠慮され、気まずく車両を移動した事が何度もあった。それを思い出して、声をかけてくれた女子高校生に感謝し席を譲ってもらった。若い頃から譲ることの難しさを痛感していたが、今回の事で譲られることの難しさも知った。今度、同じ事があつたら私も65歳、年齢に不足はない(?)、恥ずかしがらずに堂々と席を譲ってもらおうと思う。

私の初体験は戸惑いと喜び、そして自分の年齢を意識した少し寂しい出来事でした。



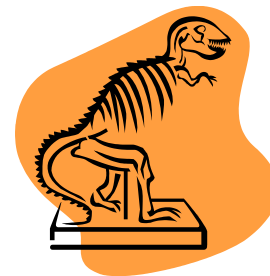
シニア大学に入学して

杉山 ○○

シニア大学に入学し内容の豊富さに驚きました。先生方の色々な御話しに納得したり、考えたり、反省したりと毎日を過ごす事が出来ました。親睦旅行では、日本政府が世界遺産に推薦した群馬県の「富岡製糸場」見学に参加させていただきました。「富岡製糸場」は殖産興業を急ぐ明治政府が最初に設立した官営製糸工場で日本の近代化に大いに貢献したそうです。見学で、地元ボランティアのガイドさんの説明を聴くと当時の伝習工女や技術者の苦勞ぶりが目の前に浮かんで来る様な気がしました。

群馬県立博物館では、特別展の「稲の歴史」、巨大な恐竜の化石等の展示品の素晴らしさに感動致しました。

多彩な内容の講座など有意義かつ楽しい一年でした。



シニア大学に入学して

中島 ○○

風香る新緑の頃に入学し、今は遠い山々がすっかり雪化粧をしています。つくづく感じるのは「光陰矢の如し」です。振り返ってみれば、懐かしい号令で講座が始まりました。私たちに、より良い楽しい人生を送る為の福祉政策、環境問題、資産運用と円満相続、楽しい音楽、身近な法律、その他多くを学びました。又、個人では中々行く事の出来ない東京証券取引所や日本科学未来館、埼玉県立美術館など、日常と離れ見聞を広める事ができ、学生同士のお付き合いが深まった様に思いました。

学友会最大の行事の文化祭、当班は民話オペレッタ「みるなの座敷」の演じ物に決まり、練習一回の為、舞台上どのように踊るのか心配でした。せっかくの学生生活に悔いを残す事無く楽しもうと観念したが、不思議に本番当日、出演者全員気持ちが一致したのか思い切り楽しむ事が出来た様に思いました。最後の合唱、気持ちよく大声で歌う事が出来楽しい一日でした。総務委員発行の会報に講座の内容のポイントが抜粋して掲載されているので復習になり嬉しく感謝しています。有難う御座います。ここで2句



「知識ふえ 人生楽し 友と共」 「何にしたか 会報読んで 思い出す」

人生いろいろ

宮崎 ○○

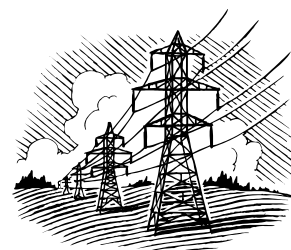
2014年は午年。今年、私は年女です。思い返せば3歳目前に終戦を迎え、全く何も無い所から始まり、お芋の茎を食べ、進駐軍からの救援物資の脱脂粉乳の給食を食べ乍ら、それでも一生懸命に勉強して高知工業高校を卒業しました。幸運な事にそれから先は高度成長の波に乗り、東京オリンピック、所得倍増計画、日本列島改造計画論と右肩上がりの高度成長の社会で楽しく働き、そして結婚。専業主婦として家事に子育てにと夢中で過ごしている内にバブル崩壊がやってきました。第二の就職をして、夢中で働きふと我に返ると定年を迎えました。定年後は趣味として始めた民話をボランティアとしてデイサービスで語ったり、海外旅行で遺跡や雄大な景色を見たりして元気を貰っている日々でした。しかし、もっと何かをしなくてはと考え、シニアユニバシティ岩槻校に入学する事と致しました。色々な講座や行事を経験し、新しい目を開く事が出来、本当に幸せを感じている今日この頃です。できれば大学院にも進学してパソコンも上手に出来る様に精進したいと思っています。でも、何せ色々とする事、為す事に時間が掛ります。でも、負ける事無く、最後迄自分の足で一步、一步前進して行きたいと頑張っている今日この頃です。



シニア大学の思い出

石塚 ○○

シニア大学に入学して実際の各講義を受けて見ますと、その高度な講義内容にビックリすると共に非常に勉強になり多くの知識を得る事が出来ました。私にとって印象に残った講義は「環境問題と私たちの暮らし」での原子力エネルギーに関する件であります。講師によると原子力は医療、電力、兵器等に利用されており管理ミスにより放射能漏れなどの危険があるが、日本の様に資源の無い国では必要な技術との事だが、福島原発事故後の様々な問題（廃炉、被ばく、除染、汚染水、中間及び最終処分場）等を考えると原発による電力には疑問が残ります。今後は原発や石油及び天然ガス等に頼ること無くクリーンな電力と大型蓄電池の開発を急ぐ必要があると思います。又、身近な問題として市長による「市政について」の講話の中で、一番の問題点は、さいたま市が今後急速な高齢化社会に突入する事が明らかであるのでこの問題（高齢者の増加により高齢福祉等に要する費用の増加）を如何に乗り越えられるかが課題として残されているとの話があり、これに加えて公共施設の老朽化問題を考えると「この先の我が老後は難儀やなあ！！」最後に、文化祭での演芸で一班の題目である民話「みるなの座敷」を演じたが、宮崎さんの「語り」の巧みさと我々男性演技者の誼こち無さとのアンバランスの面白さがあり、印象的な文化祭となり良い思い出が出来ました。



黄昏素浪人の独白

上林山 ○○

勝手気ままな素浪人生活を2年間も続けると、さすがに有り余る可処分時間を持て余す。何かしなければ、なにか始めよう・・・それは“今でしょ”思い立って、シニア大学入学を申し込んだが1年目は不合格。2度目の挑戦で岩槻校9期生として入学できた。団塊2期生の吾輩も既に高齢者群に位置付けられる。しかしシニア大学ではまだまだ若造の部類だ。年齢差が一回り以上あり、豊富な人生経験と多才異能をお持ちの方が大勢いらっしゃる。それに元気で活動的で向上心も旺盛だ。



“じえ じえ じえ”と驚かされることの連続であった。それでも共に学ぶ仲間として親しくお付き合い頂いた。授業は興味をそそる講座もあれば眠気をさそう講義もあったが、真面目に聴講されている姿は印象的だった。老老男女が日頃の成果を披露した文化祭は盛り上がった。史跡めぐり、麻雀同好会の二つのクラブ活動に参加した。と

くに麻雀クラブはアフターの飲み会が定例化して楽しかった。敗戦続く吾輩を慰労するため設営してくれたのだろう。“お・も・て・な・し”の器量ある心優しき友人たちを得たことに感謝している。僅かばかりの捨扶持を頂戴して暮らす素浪人である。ゆえにシニア大学で学び教わったことを、世のため人のために“倍がえし”することなど叶うはずもない。だが、せめて人様の足を引っ張らず手を引っ張る生き様が出来るように心がけたい。そしてシニア大学岩槻校の大学院に進級し、さらに多くの仲間づくりができればと願っている。

家庭菜園奮闘記

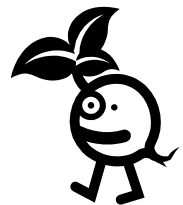
関谷 ○○

3年前から30坪程の家庭菜園を始めております。

始めたきっかけは、釣り仲間に誘われた、家から比較的近い、場所は元荒川河川敷、春先は釣りが出来る、使用料は掛らない（地主さんはいる）と単純な理由でした。

2～3年程耕して無かった場所でしたので最初はスギナ（つくし）、木の根、ふきの根等の雑草対応で1年が過ぎた様な気がする。それでも見様見真似でジャガイモ、小松菜、茄子、トマト、ダイコン、・・・等々できてしまった様な気がする。

2年目からは家庭菜園の知識（書物・アドバイス等）を吸収し対応（耕し、石灰中和、地中の害虫駆除、肥料の施し、水やり、雑草取り、防寒、防虫、連作障害等々）知識はイッパシとなる。とは言え失敗も・・・枝豆を蒔いて芽がでてきたら鳩に食べられてしまった、ブロッコリーの葉っぱが丸坊主（ヒヨドリの群れ）、玉ねぎの苗が根切虫にやられた、トマトが赤くなったらカラスの餌食等々、怒り・悲しみ・楽しみながらの奮闘。



3年目の今年は「私失敗しないの」を念頭に、初夏の日照りも乗り越えて順調に収穫できており（ジャガイモ、里芋、玉ねぎ、かき菜、ブロッコリー、レタス、等々）採りたてを食べられる幸せを感じています。（農耕民族の血をひいているのかも？）

自然を感じ、作物と対話し（？）収穫の恵みを頂く・・・楽しんでおります。

シニア大学に入学して

増山 ○○

70歳でサラリーマン生活に終止符を打ち、その後、自治会活動、家庭菜園、ゴルフ等で時間を潰していた所、さいたま市の広報で「シニア大学」のことを知り、岩槻校に入学させて頂きました。毎回これ迄と違ったジャンルの講義を聴き大変勉強になりました。特に文化祭に於ける展示品の素晴らしさや、芸能部門での芸達者ぶりには驚くと共に、“女子学生”の皆様の活発な振舞いには敬服致しました。



又、クラブ活動ではゴルフクラブ、史跡めぐりクラブ、等で皆様にお世話になりました。入学して強く感じたことは、役員の方々の積極的な御活躍でした。何も出来ない私からすると頭が下がります。

第9期生として卒業した後は大学院に進む予定です。皆様には又、御世話になりますが宜しくお願い致します。最後になりましたが、本部の杉山様はじめ大勢の方に大変お世話になり感謝の気持ちで一杯です。有難う御座いました。

2班

シニアユニバーシティー岩槻校を顧みて

荒井 ○○

岩槻校に入学出来、気持ち新たに授業に出席しました。私は、二班で11名の生徒さんと机を共に学び、皆明るく、優しい方々でしたので楽しく時を過ごす事が出来ました。

一番の思い出は文化祭、どの班も趣向をこらし見ている人を充分に楽しませてくれました。二班も唄二曲を披露し、2度の練習でバッチリと歌えました。展示品も皆優れ品で感動しました。また、授業については、十分に参考になりましたが、先行きちょっと暗くなるようなお話もあり、意外でした。これから10年20年30年と元気で楽しく日々が送れるようなお話もあってもと思いました。

クラブ活動はシニアダンスクラブに入部しました。シニア大学卒業第一期から八期生がいるクラブに先輩の友人に誘われて入りました。今でも月曜日4回本町公民館で13時より練習をしています。とっても楽しいダンスクラブです。シニア大学に入学できたお陰で、友達もできダンスクラブにも入部できて、毎日楽しく有意義に過ごせています。

役員の皆様、生徒の皆様一年間お世話になりました。ありがとう。感謝です。



シニア大学生活を振り返って

岡本 ○○

夫の仕事は、転勤が多く、定まらない生活を何十年も続けて来ました。ひよんな事から、岩槻の地を、終の住みか？に決め、社宅生活を脱してきました。知らない土地を転々とした為、友達が出来ても、直ぐに別れる事になってしまう。この地に来て、やはり知り合いも無く、いろいろ大変でした。

大学では、色々な方に知り合い、楽しい一時を過ごすことが出来ました。バス旅行では、巧みな話術で笑わせてもらい、文化祭においては、短時間の練習にもかかわらず、それぞれの班が一丸となり、発表に漕ぎ着けた事、学生時代にタイムスリップした様でした。家にいたら味わえない、人との新鮮な触れ合いを感じた一年でした。楽しい老後を送るには、人と係って生きる事、それには外に出る事が大切では、もちろん健康でいる事は言うまでもない事です。・・・

自分の知らなかった事を、見、聞き、体験し、新しい事に挑戦し、これからの時間を、少しでも悔いの残らない様にして行きたい。



大学での時間も、残り少なくなってしまうが、その一貫となる事が出来る様、出席していただくと、願っております。

東京 ディズニーランドの思い出

黒川 ○○

先日、11月17日 夫の職場で一年の行事の一つの日帰り旅行に参加をしました。以前はバスで参加をしましたが、今回は電車で春日部～八丁堀～舞浜に到着。駅構内は、子供から大人とで大変込み会っていました。入口付近には大きなツリーが飾ってありビックリしました。どこに行っても待ち時間が30分以上なので大変です。イツ・ア・スモールワールドは私が好きな乗り物の一つです。

個人で行った時(夫の父親は大分前に亡くなっている)夫の母親、私の両親(いずれも今は亡くなり、いません)息子達が小学生の頃、一緒に車で行き(11月頃)夜遅くまでパレードを見て楽しみました。その時の事を鮮明に思い出します。一緒に乗った時の事、コーヒーカップに父と私達家族の5人で乗り息子達は元気があり、力いっぱいハンドルを回しスピードが出てきて父が怖がってきたので速度を弱めた事などです。

親達で行った時は7ヶ所位乗って、道路に出ると10人位で行進をして来た時、夫と私の母親だけが車イスでいた所、母親の車イスの所に指揮者が来て、偶然に真正面で見られる位置で止まり、整列をして3曲位演奏をしてくれたそうです。夫は私達を呼びに行こうとしたそうですが、すぐに演奏が始まり周りにいっぱいの人ばかりになり呼びに行く間もなく何曲か聴く事ができたので母はとても満足そうに話をしていた事を思い出しました。

今、考えると、ディズニーランドでは車イスで来園した親子に対する最大のサービスではなかったかと思います。今回は会社の行事で行きましたが、両親を連れて行き楽しかった事を思い出しながら私達も乗り物に乗りました。天候にも恵まれ良い一日を過ごす事が出来ました。



今 思う事

澄川 ○○

シニア大学に入学して、アツという間に一年が過ぎようとしている。とても有意義な一年間でした。知り合った皆さんの前向きな姿勢や、文化祭などでの多才な趣味や、才能に本当に感心しました。そして、何度かカラオケボックスでの文化祭の合唱の練習や、文化祭の後の慰労会、忘年会などで、班の人達との交流がより深められたと思っている。

今年の初めには、知り合った事のない人達と、年末には忘年会を一緒にする間柄になっている。人との出会いは素晴らしいと思う。これからも出会いを大切にしたいと思う。

子育て、仕事と家事の両立、親の介護というような、今までの大変さとは違った出来事に直面するかも知れないけれど、あまり無理をせず、我慢をせず、自分なりに歩んで行きたいと思っている。



2013年(平成25年度)

中山 ○○

今年一年は、とても多忙な日々を過ごしました。

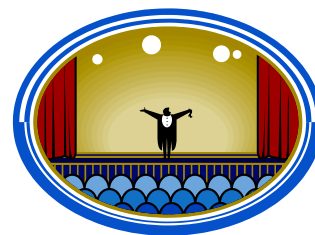
3月にやっと退職が認められ、市・区等の講座、学級、シニア・ユニバーシティ等々に応募して、ほとんどが抽選に当たりました。

その他に、展覧会・コンサート・観劇・旅行等を入れ、又7月からは合唱団に入って歌ってきました。充実の一年でした。

来年は干支です、もう少し行事をセーブして、一段と飛躍をしたいと、よくばっております。

ユニバーシティの皆様にご心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。



親睦旅行 富岡製糸場見学に参加して

森 ○○

晩学のシニア大学の女子大生？として、小春日和の11月21日富岡製糸場見学の研修旅行に参加しました。日本近代化の幕開けと言われた製糸場は、木骨レンガ造りに白い窓が明るい。フランス式の糸繰り器が300釜設置されたという糸繰り場はとにかく広く、高く設けられた窓からは冬日が燦々と差し込んでいる。おしゃれなベラン

ダのついたフランス人女性教師の住居は女工さんの夢を育んだに違いない。明治の気概が感じられた建物でありました。その折のころ惹かれたことを俳句としました。

繭の形の白雲浮かぶ小春空
神の旅立世界遺産へ夢託す
製糸場の明治を辿る返り花
窓越しの冬日あやなす糸繰り場
短日や目つぶれば聴こゆ糸繰り器



古希のクラス会

今井 ○○

古希になった昨年、30 数年ぶりに故郷滋賀の小学校のクラス会に参加した。幹事持ち回りで3年ごとに開催されているが私は仕事の都合で今まで参加出来ていなかった。あまりもの長期の疎遠で、私は頭が禿げ変貌ぶりを自ら自覚していたものの級友にもわかには誰だかわからず、暫くは、しぐさや話し振りを見聞きしお互いに探り合う時間があった。それでも年輪を深く刻んだ顔の中には昔の面影が残っていて思い出すにそれほどの時間は不要だった。

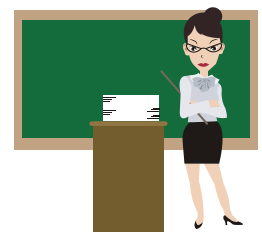
私たちの2年・3年の担任だった93歳の女性の恩師が出席され、会は大いに盛り上がった。授業の開始前に必ず「孫悟空」の本を読んでいただいたこと、先生は徒歩で登校されていたので数人でお迎えに行ったこと、近くの神社で落ち葉拾いや木の実拾いを楽しんだことなどなど60年も前の思い出話に花が咲いた。

恩師の凜とした話し振り、立ち居振る舞いに接し、93歳の今も「私たちの先生だなー」、失礼な言い方だが「先生らしい先生だなー」と感銘を受けた。はたして私はこの歳になってなおこのような立ち居振る舞いができるかな？と。級友も同感だったようだ。今回のクラス会で私は恩師から魅力ある老い方を教えていただくとともに元気もいただいて帰ってきた。

この春には、恩師を関東近辺に居る級友と一緒に東京スカイツリーにご案内しようと計画を練っている。

人恋しく、故郷恋しい思いは、齢を重ねることと故郷からの距離に正比例するように思えるのですがいかがでしょう？

『凜とした恩師を囲み我もまたかくありたいと古希の教え子』



中国を旅して

小山 ○○

十年ほど前、三十年以上勤めた会社を停年前に退社した。親父が満鉄にいたという友と中国を旅した。満州国、今はないがその跡を行ってみようと思った。その頃の入口、大連から出発、日本人には馴染深い大連病院、五十年以上経つのに未だ健在、感激した。大連から満鉄に乗る。瀋陽、新京、哈尔滨と、日本統治時代日本人が多くいた四ヶ所をめぐる。

三回半日満鉄に乗る。窓の外は、見渡す限り麦畑、国の大きさ、十三億の民を思う。

瀋陽⇒ 町を歩く人々はビニール袋に色々な物をいれていた。あの人達は調理人だと言う。中国人は一族で生活する。各家庭に調理場はなく、広場に集まり食するとの事、液体を大きなビニールに入れていた。あれはビールだとの事、驚く。

新京⇒ 日本人が多くすんでいた一画、表札を出す家が多くあった。表札の所に来福と書いた紙を貼り付けていた。

哈尔滨（ハルピン）⇒ 大正馬年生まれのお袋が「お前は、哈尔滨生まれ」と呟くのが心に残っている。戸籍上日本だが、哈尔滨で現地招集され、行方不明のままの親父を思う呟きだったと思う。横綱大鵬もここの出だという、一族はまだここにいるという。本人ではなく親父らしい。



出会いを大切に

瀧田 ○○

私の信条である「出会いを大切に」を、将に実践できるシニアユニバーシティーに参加する事が出来て、幸せいっぱいの充実した今日この頃である。53年間、75歳まで何とか人様にご迷惑をかけることなく黙々と働いてきた人生の、残り僅かな日々を如何に充実したものにするかという課題が私に課せられた大切な課題であったのを、家内の「シニア大学に行ってみたら・・・」の一言が私をこんなにも幸せにしてくれるとは想像だにしていなかった。

袴を脱いだ、過去の肩書も、経歴も、学歴も、名刺も何もいないお付き合い。長幼序列を心に対等なお付き合いが出来ると言う、これまでに全く経験したことのない社会とはどんなものか全く分からずに飛び込んでみたが、家内の言う通り、数か月何もすることもなく悶々としていた曇り空が瞬時に晴天になった感じがした。城山 三郎の世界から手帳に少しずつ空白が埋まってゆく楽しみ。教室で皆様とお会いでき、言葉を交わせる喜びと数々の感動。



講義の内容も構えることなく、クラブ活動も直ぐに溶け込めることができ、学友の心配りに感謝しつつ楽しむことが出来ている毎日である。特にハイキング、ゴルフ、

昔さんざんお世話になった麻雀等、お世辞抜きで楽しませていただいている。80名の皆さん全員とお付き合いすることはかなわぬ夢であるが、来年の大学院、その後の校友会活動を通して出来るだけ大勢の皆様との交流が出来ればどれだけ幸せになれるであろうか。考えただけでも私の夢がどんどん広がってゆくようで希望が湧いてくる。

私の悪い癖（お節介焼き）で、勝手に会報など手掛けて皆様に大変ご迷惑をおかけしたことを心からお詫び申し上げます。年間を通して我が第9期の記録を、少しでも後日の楽しかった思い出として残したい一心で始めたことゆえ、何とぞご理解を頂きたい。大勢の皆さまから多くの投稿を頂き、お陰さまでスムーズな編集が出来て、私自身毎月楽しみながら編集することができたことをお伝え感謝に変えさせていただきたい。

タイトルにさせていただいた私の信条である「出会いを大切に」を、今後も心して皆様との出会いを私の大切な宝物とし、残された人生にもっともっとたくさんの出会いを求めて交流を図ってゆきたいと考える毎日である。

出 会 い に 感 謝

薬との付き合い

中澤 ○○

加齢と共に薬との付き合いが増え、現役時代開発に係った薬に昨今付き合っている。後期高齢の今日、健康寿命に関心を持ち、あまり家族に迷惑を掛けず最後はピンコロで終わりたいと願っているがどうなることやら。ところで日常服用している薬について基本的な事を2,3自問自答して考えてみよう。

まず、薬の服用量、服用時間を守り、飲み忘れや飲み違えがなく、水又はぬるま湯で飲んでいるだろうか。それでないと十分な効果は期待できないし、薬はそれらを考慮して設計されているはずだ。

高齢になると、一般的に肝臓、腎臓の機能が低下し、薬の分解や、老廃物の排泄が順調に行われなかったり、蓄積が起こったりして、副作用の発現頻度が高くなる傾向が考えられる。それに投薬される薬の種類も多くなる事があるので、その分副作用のリスクも多くなるだろう。今まであまり重い副作用の発現を経験していないが、もしそんな場合にはやはり主治医に相談し薬を代えてもらうか、少しの間休薬が必要かもしれない。

処方されている薬と、飲み合わせに注意しなければならない薬（禁忌）もあるだろうから、複数の医療機関を受診する場合や、薬局で薬を購入する際には「薬の手帳」を活用する事が大切だ。しかし、今のところあまり活用していないので、必要な時は忘れずに持参しよう。

日頃薬は直射日光や湿気の多い所を避け、涼しい場所に保管しているし、特殊な薬剤で、冷所保存（冷蔵庫内）などの指示がある場合には指示を守っているので一応よしと言える。

まだ、他かにも気を付ける事は有るが、少なくともこの程度の事は今後共守ろう。だが待てよ薬は異物だから、できることなら付き合わずに日々過ごせたらと考える今日この頃である。



「文化祭」ビフォー・アフター

町田 ○○

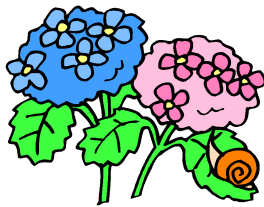
オリエンテーションの日、事務局の五藤さんが「今日は皆さんお互い初対面なので緊張されていますが文化祭を境に確実に教室全体が和やかな雰囲気になりますよ」と話されていました。当時は半信半疑でしたが今は「我々9期生も例外ではなかった」と納得している次第である。

文化祭打ち合わせのため2班メンバー全員が一堂に会したのは入学式から既に3ヶ月半が経った8月下旬。文化祭までの準備期間が2か月間と短いことから手間暇のかかる演技は難しいので、コーラス「花は咲く」と替え歌「振り込み詐欺だよおっかさん」を唄うことになった。

聞くと歌うでは大違い、「花は咲く」は結構難しく個別練習の他、全体練習をカラオケ「シダックス」で数回行って全員それなりに上達した。又恰好だけでも合唱団らしくしようと100均で造花と蝶ネクタイを準備したがそれも杞憂に終わり当日は練習の成果が出て素晴らしい出来栄であった（やや自画自賛の感あるも）。

何はともあれ文化祭という目的に向かって2班全員で2か月間濃密な時間を共有出来たことは私にとって貴重な体験/財産になった！！





ニシア大学において 新しい事への挑戦シニア大学

石塚 ○○

五月七日の入学以後講師の先生による勉強会、岩槻の歴史から始まり原子力エネルギーの話や骨のこと、相続や振り込め詐欺の話と多々有りました。音楽の時間も楽しかった。十一月にはミニコンサートを聴きに行き、その後歌声広場にも参加して声を張り上げております。又フランス料理の先生の話では、賞味期限の件で羊羹は十年持つと言う事には驚きました。その先生がそば好きと言われた時は父の顔が浮かびました。料理人だった父も母の作った素麺が大好きだったのです。和食が無形文化遺産となり食への関心が増しました。

ハイキング部では、六月に北鎌倉からの寺めぐりをしました。明月院では、暑い日で大変な人出でしたが、紫陽花は見事なものでホットしました。二度目は一転、雪中ハイキングになり龍頭の滝から小田代原と熊出現の看板に怯えつつ、ただ黙々と歩き、新雪に足跡を残して来ました。此方は指で数えられる程の人にしか出会えませんでした。兎に角寒く歩けども体が温まらずリーダーさんは手袋に懐炉でした。湯滝の階段を上がりきったら、バス停迄をラストスパート日光駅では雪もなく紅葉も少しは見えただかな？五時半には春日部着メッチャ疲れた・・・。

何はともあれ半世紀振りの学生生活？年甲斐もなく楽しみました。三班の仲間達&クラスメイトの皆さん素敵な時間を共有出来て有難う。今年は年女、前に俺は駄馬だと言った方が居りましたね。私はさしずめじゃじゃ馬、大学院へと走り出しました。皆さん一緒に進みましょう。

シニア大学に入学して



梶間 ○○

私は、この春から、念願かなって大学に入学する事が出来ました。

実は、私の高校時代は、憧れの大学に進学できるのは全体の半数以下でしたので、私も大学に入学する事ができ、大変うれしく思っております。

大学では、色々な事を学びました。

例えば、これからの人生に大切な健康、法律、相続、身近な歴史、心豊かにさせてもらった音楽、そして、笑いヨガ等多方面に渡った授業でした。

私がこれから人生を歩むうえで、楽しく、なおかつ、健康で過ごす為に重要な事となると思います。

秋の文化祭には、私の班のメンバーで歌を二曲選曲し、合唱しました。

全員一丸となり、絆がより一層深まったように思います。

忘年会は、私の足の手術で残念ながら、欠席いたしました。

これからも、皆様にご迷惑をお掛けする事もあると思いますが、宜しくお願いいたします。



「華めぐり」

小暮 ○○

私は、花散策クラブに入会し早々岩槻公園に十名集まりよい天気恵まれ、白色・ピンク色に睡蓮の花を見ることが出来、とても嬉しい気持ちになりました。次回どこに見学に行こうかと皆さんで話し合いし、二回目千葉県本土寺の紫陽花を見学に行きました。花菖蒲や紅葉を見学することが出来嬉しかったです。柏駅に戻ってインドカレー店に入ってランチをしながらミーティングをしながら、皆さんの顔と名前が一致するようになり、一段と親しみが湧いてきたと思います。三回目行田の古代蓮の里へ参加者十一名花好きが集まり、蓮の花は朝早く開花し、昼ごろ閉じるとあって早朝七時四十分岩槻駅を出発、大宮から籠原に行き行田駅より循環バスで古代蓮の里に着いたら多勢の人が楽しんでいました。ランチは名物の手打ちうどんを食べ、売店で行田の名物や農産物や土産品などを楽しみました。蓮の花会館に入り高いタワーからいろいろ多種類の稲だけで色分けされた広大なキャンパスに見立てた見事な田んぼアートを眺めました。四回目は台風で変更となり参加者九名で浅草向島百花園の萩を見学することになり向島で下車、平日にもかかわらず花好きの人達が大勢楽しんでいました。萩のトンネルをくぐり藤棚の下で昼食を頂き話に華が咲きました。その後、東京スカイツリー見学することになりましたが、約一時間並んで展望台に行き、関東平野、新都心、皇居等を見ることが出来ました。楽しい一日でした。



老化現象

高橋 ○○

色々なことが思い通りにできて当たり前だったのが、ついこの間のことのように思われるが何時からか行動に支障を来すようになってきた。

かつて年長者に「年をとったら一年の差だって大きいよ」と言われてはいたが最近ああやっぱり！と体に限らず脳の衰えにも気付かされる今日此の頃だ。以前は書けていた漢字が出てこなかったり又は人の名前や場所の名前、そして植木や花の名称等々数え上げたら切りがない。体の不調で病院に行くと医師は半分口ごもりながら「長い間

使ってきてますからね」と気の毒そうに言われる。つまり老化現象という。さりとてこのまま朽ちるのも・・・。

若い頃から時間のとれる限り色々の講演や講座には出席するようにしてきたがこれからも出来るだけそれを続けることを心掛けたいと思う。それから友人達との付き合いも少しでも長くお付き合いを楽しみたい。

シニア大学でも沢山のお方と知り合えたし。毎回の授業も楽しい。

待っているのではなくこちらから出て行かなくては多くの人との出会いが得られないと思う。なるべくではなくどんどん出て行きたいとこれを書きながら自分にハッパをかけている。それにしても年はとりたくないものです。

朝の散歩は素晴らしい！

羽廣 ○○



毎朝、近くの岩槻公園を散歩する。春は桜並木が其れは見事で豪華絢爛である。夏にはピンクと白い花の睡蓮が池一面覆うように咲きだし、大輪の古代蓮も見れる。秋は银杏の黄色と紅葉のコントラストが美しい。寒い冬を告げるように、初霜が落ち葉の上を朝日がきらきらと輝かせている。真冬に成ると池一面に氷が張りだしスケートが出来くらいに成る。

カワセミは一年中姿を見せて写真家マニアを引き寄せ、カモ、サギ、1Mもあろうかと思われる大きな鯉がゆったりと泳いでいる。日々刻々と移り変わる四季の移ろう様を見るのは楽しい。

散歩中の犬の頭をなぜたり、抱っこしたり、話したりするのも大好きである。飼い主との会話も自ずと生まれし、気が合う友も出来たりする。御一緒のおしゃべりも楽しいものである。

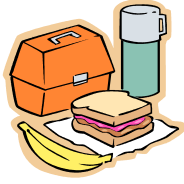
たまたま連れあつた方が、誰かれ構わずに全ての人に挨拶される。私も思わず「おはようございます」と声をかける。すると必ず「おはようございます」と返事が返ってくる。何と清々しい事か。ほんわかと温かい気持ちになってくる。

昔から人間関係は「挨拶から」と言われるように、人と人との触れ合いは、親しみや敬いの心を育ててくれて大切である。今のように文明が進むと人の触れ合いが少なく成って来るように感じて寂しい。

挨拶しあつて、みんなが仲良くなれば家族が仲良くなり、地域社会も、日本も、ひいては地球全体が明るく平和に成るのに・・・なんて夢を描いています。

「挨拶」や「笑顔」や「歩くこと」にお金は一切かかりません。

朝一番の日光をあびながら、良い空気を吸って歩くことは、骨を丈夫にし、自ずと健康に成り、良いことづくめの朝の散歩である。



「シニア大の思い出」

山根 ○○

月日の経つのは早いもので、ついこの前入学式を済ませたと思ったら、もう卒業を迎える時期になってしまいました。

5月に入学し、オリエンテーションから始まりましたが、班組織が予め決められていたので、同じ席に坐った人達とは、すぐに仲良くなりました。

授業のある日は、ランチを共にし、付近のお店をいろいろ食べ歩きました。

又、文化祭の練習では、毎週のように顔を合わせ、いろんな場面で大笑いした事が、多々ありました。当日も楽しく舞台上に上がれて良い思い出を作れました。

11月の親睦旅行は、富岡製糸場もさすがでしたが、何より天気にも恵まれ、車窓からの紅葉や、博物館のところから眺めた山々の美しい景色が、深く心に残っています。その上、車中での楽しいゲームやクイズ、ラッキーなことに私は大当たり・・・大満足の1日でした。また、機会があれば、楽しい旅行に参加したいと思っております。

御尽力いただいた皆様、ありがとうございました。2年目もどうぞよろしく願いいたします。



この一年を顧みて

荒井 ○○

シニアユニバーシティに入学する事が出来皆様と初めての顔合せの日に3班に名がありました。これから一年間のいろ～な説明を聞き希望を持ちましたが、その後仕事の都合により思うように出席出来なくなりました。10月28日の文化祭には何とか出席する事が出来久らくぶりで皆様とお逢い出来ました。3班の人には大変迷惑をかけてしまいました。練習にも出られず当日を迎えました。でも皆さん親切に御指導してくださって一緒に舞台上に立ち唄を合唱し、とても楽しくいつまでも思い出に残る文化祭になりました。

他の班の人にも唄に踊りに工夫をこらして見ている人を楽しませてくれました。展示品もどれを見てもとても上手に作製してあり感激しました。

クラブについては、シニア大学を卒業した一期生がダンスクラブを立ち上げ今では八期生までの生徒さんが練習しています。今年で9年目になるダンスクラブに知人に誘われて入部しました。

練習は毎週(月) 午後1時より 本町公民館にて

いつでも見学に来て下さい、先輩の皆様がお待ちしています。
一緒に踊りましょう!!
元気が一番、この一年間いろ～と有り難う御座居ました。

岩槻校の思い出



酒井 ○○

私は定年退職後も会社員生活を70才まで行ってまいりました。退職後地域の小学校の下校時のボランティアを行い、現在も続行中であります。このような状況でボランティア活動以外は家にこもっているの、人との対話やもっと積極的な社会参加して対応する能力と心身の健康を培いたいと思いシニア大学に入学した次第であります。

このような状況で入学致しましたが、入学時は学友との交流がなく、私も今年は喜寿の年となり、依存型の生活になりつつありました。この状況が一挙にその姿が変化したのは“文化祭”とクラブ活動の“史跡めぐり”のその準備活動とその実行でありました。

その準備活動とその実行では学友の皆様には迷惑なことや心配りが足りなかった点があったかもしれません。その点お詫びを申し上げます。私自身も学友の皆様には迷惑がかかることを心配しておりました。それが学友の皆様との絆が生まれ、楽しく過ごしています。それは学友の皆様との親睦と交流によるものでした。学友の皆様には深く感謝する次第であります。

文化祭は特にその準備で学友にお世話になりました。それは合唱の練習でした。最近カラオケにも行ったことがないのですが、班員の指導で何とかみんなと一緒にできました。文化祭が開始され、展示の部と次に演芸の部が無事に終了したときには安堵の気持ちと達成感を感じました。史跡めぐりは本当によい企画で実施できました。深く感謝しているところであります。まだ未実施の企画があり、皆様から満足されるよう頑張るつもりであります。

一方、一般教養に関しては、新聞、テレビ等で多少の知識を得ている積りでいますが、それらの講義を受けて、改めてそれらの知識をさらに極めたいと思うようになりました。

無 題

中山 ○○

今、火鉢の中、炭が赤々と燃え、我が手を炙りつつ若かった時を思い出しこの文集の構想を思考し錯誤しております、間もなくシニア大学の1年が終わろうとしています。

す。

色々な事を教えていただきました、感謝しております。

私事ではありますが今年も小さな畑に沢山の野菜が出来る様、汗を流し、又、お聞き苦しい音楽ではなく、皆様方に感動を与えられるように、二胡の練習に励み、さらに今年も知らない国に行きインプレッションの旅へといざなえたらと熟慮しております。



皆様方におきましては、お体をご自愛いただきますよう拙にお祈り申し上げます。短い文面、早々にて失礼の事お許しく下さいませ。

人との出会い

松井 ○○

6回目の巳年を迎えさらに多くの人達と知り合う事が出来たならと入学した。班はもとより学友会の理事会もどのようなものかと関心があった。

授業（少々耳が遠くなってきており、講義が聞き取れない事も多かったが）も然ることながら、昼食時等も班の皆さんと一緒に、回を重ねる毎に顔と名前が一致して親しみが増し、こちらからも話しかける事が出来た。特に文化祭の練習は各自の個性が表れ、楽しくもあった。文化祭後は会う機会も少なくなり寂しくなった。家庭菜園をされている方からは旬の野菜等わざわざ持って来ていただき堪能したりした。



ハイキング部(代表となる)では鎌倉や奥多摩そして奥日光（各詳細はハイキング部活動報告参照）と暑いさなかの舗装路等の歩き、急な山道の登りや今冬初の雪との遭遇で歩きを急いだりした。それぞれをなし終えた時には苦勞も感じはしたが、逆に仲間と一緒に行動したが故の達成感や楽しさが感じられた。

パソコン部では自己流でやってきていたので、講師の方等になるほどこういうやり方もあるのかと教わりながら身に付ける事ができた。活動後に共に昼食を一緒にすることも多く、知り合いが増えたと感じる事となった。

このように多くの人々と出会え、気後れせずに声を掛けまた掛けられて、楽しく過ごすことができ本当に良かったと感謝しています。先日、外で若い女性に挨拶され、びっくりおどおどしてしまいましたが、その方は近所の蕎麦屋の普段着姿の女将さんでした。これも多くの学友と接したこと故かと思うのであった。

4 班

シニア大学において

井上 ○○

シニア大学に入学して、華の女子大生となりました。私たちの時代は、大学に進学する人は僅かでした。内容はどうあれ、月に二回のすばらしい講義と、素敵な学友との学生生活が送れ、あっという間の一年でした。

一生勉強、一生青春の、こんな充実した人生が、いつまでも続くように、時間を止めることができたらどんなに楽しいでしょう。

母親の人生を思い起こすと、家事と育児だけの一生のように思えました。

高齢化社会の渦の中で、シニア大学の生活はとても大きな存在です。

これからも、もっと多くの方々の知識と人生観を学びたいと思います。



シニア大学に入学して

唐澤 ○○

シニア大学に入学し幅広い講座や美術館その他の見学など楽しい時間を過ごすことが出来ました。その中で「異文化の理解、イスラム世界」の講座を受け2年前に行ったトルコの旅を思い出しました。

イスタンブール旧市街のホテルに泊り朝5時頃、大音響で「アッラーは偉大である、ムハンマドはアッラーの使徒である、モスクにお祈りに来たれ」とアラビア語でモスクの塔から朗読されます、美しい声の高音と低音でひびき渡ります、四方に知らせる為遠く近く聞こえてきます。

驚いて起き上がり、せっかく早起きしたので友人とスケッチに出掛けました。スケッチしていると猫がいます、二階を見上げているもの、私の足にすり寄るもの、後で判ったのですがイスラムでは猫は神聖な生物で町猫としても大切にされているのです。少しすると二階から餌が投げられ猫がゆったりと食べています。

新市街では犬の散歩は見かけましたが、旧市街はいません犬を飼うのは肩身がせまいようです。ホテルに帰り私達も熱いチャイと世界一美味しいパンの食事をします、私の出会った朝の情景でした。



思い

小林 ○○

人生は、思いのままに成らぬもの。
過ぎてみれば、八十路立ち、くよくよしても始まらず。
目標は、東京オリンピックの卒寿まで、前進のみ。
願わくは、紅葉のように、ちりたいな一
人の命と、重ねあわせて。



シニア大学をふり返って

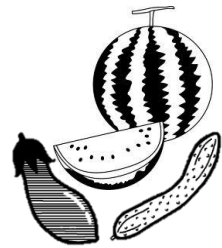
高山 ○○

早いもので、4月に市民会館おおみやにて、入学式を行い学生として、岩槻ワッツ
コミセンにて授業を受けて、もう少しで1年になろうとしています。

こう言う講座に参加するのは初めてで、最初は分からないことばかりでした。班の
皆さんと顔を合わせて、最初は名前を覚えるのが大変でした。

でも、回を重ねるうちに、皆やさしく接してくれて、いろいろ教えていただいて安
心しました。

私が授業で、一番印象に残ったのは、大宮パレスホテル料理長の「一皿を仕事に出
来る幸福」という話でした。「旬の物をおいしく食べる、今はいろいろな野菜、果物、
魚が一年中あるので、いつが旬なのかわからない。今の子供たちは
かわいそうだ。」と言っていました。私の子供の頃は、家が農家なの
で、夏はナス、キュウリ、トマト、スイカなど、畑から取ってきて、
そのまま食べたものでした。



だから新鮮で、とてもおいしかったです。

あと、ホテルから1日に出る生ゴミが、300kgだと聞いて驚きました。そして、
その生ゴミを地下で堆肥にして、農家の方が、また野菜の肥料として利用し、新鮮な
野菜に、何回もリサイクルして、地球にやさしい事をしているのだと感心しました。

クラブは、花散策クラブに入りました。女性ばかり13名で、最初は岩槻公園の水
連の花、次は松戸の本土寺のあじさい、花しょうぶ、9月には向ヶ丘百花園でハギの
花を見て、帰りはおもいがけず東京スカイツリーに寄ってきました。女性同士和気あ
いあい、いろいろな人達と話をして楽しかったです。

難しい講座もあったけれど、皆さんに親切にいただき、いろいろ学ぶことがで
きました。班の皆さん、クラブの皆さん、本当にありがとうございました。

シニア大学に入学して

濱野 ○○

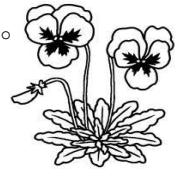
昨今いろいろな場所で、様々な講座が開かれています。私自身も公民館などでの生涯学習等の講座に参加させて頂きましたが、どの講座も多数の応募者で、いかにシニア世代が元気に過ごしたいかと、真剣に考えている証ではと思います。

シニア大学の講座も、健康、長寿、介護、食の大切さ、エンディングノート、また、日頃行けない所への校外学習などなど、幅広い分野での学びの場、感謝、感謝です。

三十路、四十路はいつの間に 還暦過ぎに病 克服、いつでもOK, ピンコロ人生

年を重ねると体の各所や体力が落ちるのはやむを得ない事としても、心の持ち方は自分次第、ストレスを溜めないよう気分転換を図りつつ過ごしたい……命は有限であり何事にもトライし、老後を元気に前向きに進んで行きたいと思います。覚えが悪くなった頭がサビ付かないようにパソコンクラブでお世話になっております。

シニア大9期の皆さんと残り僅かな授業を学んでいきたいと思います。



黒猫ポポの独り言

横田 ○○

僕ポポ。2年前ママママがこの家に迷い込み4月29日に僕達4匹を産んだ。2匹はこの家のお母さんのお友達にもらわれていった。僕と妹のルルが残った。

僕は真っ黒だけど、ルルはアメリカショートヘアーみたいで可愛い。

このお姉さんがルルは綾瀬はるかさんに似ていて、僕はすらっとして、顔が小さいから、ちょっと恥ずかしいけど、速水もこみちさんに似ているって言っていた。

僕とルルはカーテンにぶらさがったり、お母さんの足に飛びついて肩までよじ登りお母さんは、いつもひっかき傷ができて、プールで恥ずかしかったみたいだよ。

ルルは、生まれつき体が弱く、今年の2月に天国にいった。すごく悲しかったけど、ママママがいるから大丈夫だよ。

この家の2番目のお姉さんが、10月に男の子を産んでこの家に来んだ。

お母さんは毎日の世話で、シニア大学の講座で居眠りしそうだったって。大学の友達は皆いい人で、楽しいから休まず通っているんだ。

文化祭ではパソコンクラブの名刺作りで僕のイラストを入れてくれてうれしかった。

お母さんは僕たちがいる間は、元気でいなければと、言っていた。

僕も元気で、赤ちゃんが大きくなったら遊んであげようと思う。



八十二歳の挑戦と富岡製糸場

江原 ○○

パトロール仲間の友人からシニア大学の入学を勧められましたが、年も男性の平均寿命七十九歳から三年もオーバーしており少々ためらいましたが、年より体力・気力と思い自信がありましたので入校を決意しました。

入校して既に八ヶ月を経過し卒業も近づいてきました。其の間、講座・課外活動にも積極的に参加してきましたので、充実した楽しい日々を送る事が出来、シニア大学のシステムに感謝しております。

入校後、最も思い出になった事は、親睦旅行の富岡製糸場見学でした。と申しますのも、私は大東亜戦争の末期に東京から父の郷里である富岡の近くに疎開しました。

そして、旧制富岡中学の卒業迄（昭和24年）約五年間通学した町でしたが、一度も富岡製糸場に行った事はありませんでした。

六十五年振りのふるさと訪問と世界遺産候補の見学が出来ましたことは感無量です。

「かかあ天下に空っ風」で有名な、上州富岡の製糸場の世界遺産決定を祈るばかりです。

最後に、九期生の皆様並びに関係者の皆様には大変お世話になりました。心からお礼を申し上げます。



富岡市マスコット「お富ちゃん」

史跡めぐり 平林寺

坂本 ○○

私は、11月25日月曜日「史跡めぐりクラブ」活動で新座市の平林寺に行きました。新座市のガイドさんの案内で野火止用水を散策して平林寺までの約3.3キロを歩きました。

「野火止用水」は、川越藩主の松平伊豆守信綱が武蔵野開発のために造った水路で、小平の玉川上水から野火止（新座市）まで約30キロあるそうです。

「平林寺」は、臨済宗の寺院の一つで、600年前に岩槻に創建されたが、のちに松平信綱が現在の場所に移したそうです。

平林寺境内には、松平家の廟所や文化財があり、境内林は天然記念物に指定されており、この時季は、紅葉をバックに本堂まで一直線に配置された総門・山門・仏殿・中門そして本堂と、その素晴らしい景観には感動させられました。

本堂から左手に進むと「電力王」と云われた松永安左エ門のお墓や島原の乱戦没者の供養塔、そして豊臣方の重鎮で関ヶ原の戦いに敗れたあと、岩槻城主の高力忠房に

預けられたが自刃し、平林寺に葬られたとされる**増田長盛の墓**もありました。

このあと武田信玄の二女**見性院のお墓**を通り、高度な土木技術等で野火止用水開削の功労者であった**安松金右衛門の墓**や野火止用水開削時の川越藩家老だった**小島助左衛門正盛の墓**を拝観して大河内松平家歴代の**廟所**へと向かいました。

廟所は、平林寺本堂の裏にあり、石の柵で区切られた中には石灯籠が並び大きな石材で造った松平信綱夫妻の墓石がありました。

この後、紅葉で彩られた境内林の中を通り、平林寺歴代住職のお墓を拝観して出発点の総門前広場に戻りました。

古き良き時代に触れ、紅葉の素晴らしさを堪能し、大変満足のゆく史跡めぐりでした。



全国一周ひとり旅

浪江 ○○

平成24年3月に64歳で完全定年退職したことを機に、愛車のワンボックスカーを改造して「全国一周ひとり旅」を実行しました。旅行期間は4月～6月の65日間、四国及び沖縄などの島を除き、太平洋側から九州を一周、日本海側に出て東北を回り、北海道を一周しました。

旅の感想は、「楽しかった。でも寂しかった。」の一言です。どんなに綺麗な景色を見ても、美味しい物を食べても、一人では寂しさが残りました。そんな中で、車中泊をする道の駅で出会った方や買物や食事の際の店員などとの会話が、一時的に寂しさを忘れさせてくれました。お互いに余り個人的なことは話しませんが、それぞれの人生が垣間見られた気がしました。まさに私の好きな言葉の「一期一会」でした。

旅行に出かける前に、17歳の愛猫の体調が悪くなり、もしもの時は車を置いて直ぐに帰宅する予定でした。心配していたとおり愛猫は、私が旅立ち後、間もなく亡くなりました。しかし、妻は私に旅行を継続させるため、私には知らせず妻の妹と焼骨したそうです。旅行先からの毎日の電話では、そのことを**おくび**にも出さず平穏を装い、一人で暮らしていた妻の寂しさは計り知れないことだったでしょう。感謝 感謝

その後、シニア大学の皆さんと出会いました。授業だけでなく文化祭、親睦旅行、クラブ活動など通じ楽しい時を過ごさせて頂いております。

今後とも大学院、その後の校友会を通じて、同期生として一生のお付き合いをよろしく願いいたします。

渋沢栄一との出会い

蓮見 ○○

日本政府が世界文化遺産に推薦した群馬県の富岡製糸場を初めて見学しました。シニア大学岩槻校の親睦旅行の担当となり現地を知り多くを学ぶ事が出来ました。

特に埼玉県出身の渋沢栄一氏は当製糸場の建設に主任として二年間活躍し、自分の生まれの地である深谷から赤レンガの取入れや妙義山から材木の調達に力をつくしました。また地元には渋沢栄一博物館があります。今、岩槻は人形会館建設に伴い人形文化を学ぼうとしております。自分も童話「青い目の人形」・「うれしいひなまつり」が好きでした。調べたところ青い目の人形に一番かかわったのが渋沢栄一氏で昭和二年アメリカから1,200体の青い目の人形が、親善大使として日本に送られて来まし

た。これに対し日本から50体の「黒い目の答礼人形」がアメリカに送られた事を知りました。当時アメリカで移民問題を契機に両国の関係が厳しくなった時、摩擦の緩和と平和への願いを込めて行われたのが人形の交換であった。

現在、埼玉県に残っている青い目の人形「友情人形」は、12体有ると記録されております。平成27年の岩槻人形会館完成に展示出来ればと願っています。



REDS サポ

皆川 ○○

12年前、日本と韓国の共催によるワールドカップサッカーが開催され、私も友人と埼玉スタジアムに観戦に行きました。スタジアムの緑の鮮やかさと、サポーターの応援のすごさに引き込まれ、いっぺんにサッカーファンになりました。それからは、浦和レッズ一筋でサポートしています。

得点が入った時のスタジアムの盛り上がりは、誰かれなしにハイタッチをして、勝利したあとは、5万人総立ちでうたいます。

その迫力は思わず涙が出るほど気持ちが高揚します。



そして、スタジアムの外広場でサポーター同士が祝杯をあげます。我々の仲間は、全部で24名いますが、だいたい15名くらい常に集まりまして、栃木・川越・北本・朝霞・地元浦和とそれぞれです。アウェイでも年1回は遠出して、サッカー終了後、観光をしてきます。

2013年は6位と残念な結果に終わりましたが、今年こそ優勝を願っています。

私のボケ防止はレッズをサポートして若い仲間と接触することだと考えています。

WE ARE REDS

シニア大学に入校して

岩吉 ○○

シニア大学で1年間学び、私なりに身につけたことは、たくさんありました。楽しい仲間に出会えたこともそうですが、講義では、身近な認知症や介護の事など、今は幸いに元気ですが、「明日は我が身」という思いで聞き入りました。介護はしても、される事の少ない一生を送らなければと、思いを強くしました。最初の課外学習では証券取引所でした。とても新鮮で最近、新聞の株式欄にも目が行くようになりました。

文化祭にも参加、出し物は、「私の若い頃の写真を当てて」というクイズでした。私は、50年前の写真を出しましたが、恥ずかしいやら懐かしいやらで、複雑な気持ちでした。班長さんはじめ、皆さんで意見を出し合い練習もし、終わってみると大成功でした。このような行事を通じて人と人の絆が深められ、色々と学ぶことができました。



旅の思い出（イタリア）

木村 ○○

すべての道はローマに通ずると言われた永遠の都、いつの時代も人々を魅了してきたこの街は、パワーに満ちている。まずローマサンピエトロ寺院、バチカン市國の中心にあるカトリックの総本山、バチカン美術館、16世紀から歴代法王が集めた、世界屈指の美術品を収蔵、ほとんど完全な形で残るローマ時代の神殿、ラファエの墓があることで有名、また映画で有名なスペイン広場、階段下の街は賑わっていて、日本の百貨店もあり、買い物を楽しんだものである。その他トレビの泉、コロッセオ等印象に残っている。また、フィレンツェの街も非常に心に残っている。街全体が美術館の様な気がして非常に興奮したものです。まず、ドウオモ（大聖堂）フィレンツェのシンボル、ギベルディ作の東の扉、本物はドウオモ博物館にあるとの事。途中アルノ川に架かる二階建ての橋があり、これは16世紀から続いている。橋の下は金銀細工店が、ずっと並んで買い物も楽しみました。特にウイツイ美術館はメディチ家のコレクションがあるルネッサンス絵画の最高傑作「ビーナスの誕生」、「春」またアカデミア美術館にある「ダビデ像」、サンマルコ修道院にある「受胎告知」。これは他に作者が違う作品が何点かあるが、私はこの作品が一番気に入っている。そしてベニスも印象深い街である。リアトル橋、アーチ型の橋の下をゴンドラが行く様子は、本当に絵になり美しい。



次にサンマルコ広場、世界最古カフェ「フローリアン」で一服、その前のサンマルコ寺院、東西文化を融合したデザインのベニスのシンボルとなっている教会、モザイクが見事。そして名物のゴンドラ、アコーディオンと歌手付きで楽しい一時である。食べ物も新鮮で豊富な魚貝類、名物の筆頭はイカ墨のリゾット、その他何を食べても日本人の食に合って、とても楽しい国である。

シニアユニバーシティに入学して

駒宮 〇〇

5月、緊張感と不安を抱きながら会場に入りました。最初の授業での自己紹介で、学友との出会いが始まりました。顔と名前が一致せず、なかなか覚えられませんでした。親切で優しいメンバーに恵まれ、すぐにお友達になりました。回数を重ねるたびに仲良く、楽しい、雰囲気になってきました。

いろいろとバラエティに富んだ講義は、皆、生活に身近なもので、為になる有意義な講座でした。少しでも脳が活性化されれば・・・。真面目に拝聴はしましたが、集中力の欠如と、記憶力の低下は、歳のせいでしょうか？しみじみ痛感します。

課外授業は、個人では、めったに行かれない、東京証券取引所や、科学未来館、隅田川の船下りなど、満喫した一日でした。

文化祭では、班長さんの発案で、他の班とは違う「私の若い頃の写真を当ててください」というテーマで、顔当てクイズ式のものでした。始め女性群は、戸惑い、反対もありましたが、熱意に押されて、やる事になりました。終わってみれば、一つの事を皆なで協力して、やり遂げた時、達成感と満足感を共有することができました。文化祭後は、さらに班内の人達との、絆も深まり、気心も分かるようになりました。素敵な仲間に出会えたことに感謝です。体調に注意して「健康第一」に考えて、明るく、楽しく、生きていくことに、心がけたいと思います。事務局始め、学友の皆さん、有難うございました。



シニア大学での出会い

田中 ○○

シニア大学に入学して、11名の5班のメンバーとの出会いがありました。入学後、半年過ぎた文化祭では、S班長の力強いリードのもと「クイズで当てて宝くじをゲットしよう」に団結して取り組みました。各々の持つ力が発揮された文化祭になりました。クイズは、「今の写真・50年前の写真」を並べ、同じ人を当てるクイズでした。私は、押入れの古い段ボールから探し出した古い写真と、S班長に撮ってもらった今の写真を眺めて、ため息以外ありませんでした。準備をする中で文化祭副委員長Mさん、裏方で音響担当のOさん、字の上手なKOさん、絵のうまいKIさん、踊りを踊ったIさん、秋ルビーのザクロを展示したYさん、賞品の包装用品を自宅から持ってきたFさんと、各々活躍しました。

文化祭が終わって、お互いに絆を深めました。この出会いを大切に
して、終わりの大学生活を送りたいと思います。



がんばれ野球少年

深井 ○○

秋も深まりグラウンドの近くの木々は、色とりどりになってきた、良い天気の日！孫が所属している少年野球の試合を応援に行ってきた。試合は、1時間30分と決まっているが、試合の途中でも時間がくると終了となる。まだ低学年位の子供達が小さな体で長いバットを振り回しているせいか、なかなかヒットが出なくて、塁上のランナーは、エラーやファボールがほとんどだ。その中でたまにヒットが出ると2点3点と入ってしまう。高学年になると、低学年と違って体が一回り大きくなり試合らしくなって来る。練習を良くしているのか守備はとても上手だ。

試合は、2回ツーアウト満塁のピンチ。ピッチャー交代で、孫の出番となり、見ている方がハラハラ、ドキドキ。何とか3回、4回、5回まで投げて、0点に押えほった。その間には、ボークを捕られ審判がマウンドまで来て、子供に足の位置や、言葉で指導していた。

2対1で負けてしまったけれど、なかなか締った良い試合だった。子供たちが監督、コーチの声を聞き、一生懸命にやっている姿。終了後には、審判や相手のチームに大きな声で礼をして終わる。そのひたむきさに、さわやかな感動をもらった一日だった。

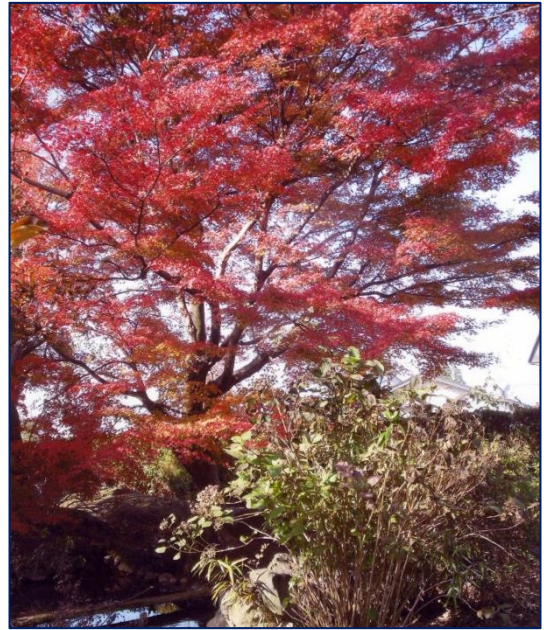


俳句

吉泉 ○○

もみじの葉 色鮮やかに 咲き誇る

外苑の いちょう並木 かさかさ



久しぶりの学生生活

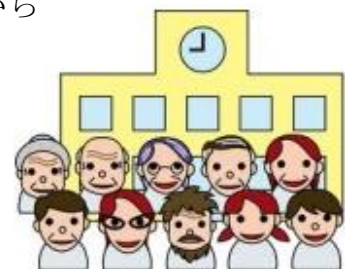
小野 ○○

42年のサラリーマン生活を卒業して、ホッと一息、さあどうすると思いつつ約一年が過ぎたころ、さいたま市の広報誌でシニア学校を知り、軽い気持ちで第一志望（大宮校）第二志望（岩槻校）で申し込みました。

5月岩槻校へ入学し、まずは班編成、自己紹介など。なかなか顔と名前が一致なくて大変でしたが、昼食や懇親会などを重ねると、少しずつお互いに緊張感がとれて、会話が前に進む感じになったようです。夏頃から文化祭の準備に入り、一体感らしさが生まれたように感じています。班長のリーダーシップ、全員の協力で何とか文化祭を終え、何か達成感、満足感みたいな感覚を感じました。


そんなある日、妻の一言「シニア学校行く日は、楽しそうね」「えっ・・・」私はそんな態度は少しも出していないが？ 長年連れ添った妻からすれば、そう感じたのでしょう。

今は何となく第一志望の大宮校ではなく、岩槻校で良かったなと感じています。この出会いを大切にして、これからも良く学び、よく遊び、楽しい学生生活を送りたいと思っています。よろしくお願ひいたします。




一年を振り返って

澄川 ○○

45年のサラリーマン生活を終え、丸二年数か月が過ぎた。基本的な生活パターンは、家庭菜園での野菜作り、健康のための毎日一万歩以上歩くウォーキング、ボランティア活動である地元自治会の防犯パトロール、昔の仕事仲間との飲み会を兼ねた情報交換会。その他年5～6回のゴルフコンペ、家族との年1～2回の一泊旅行で一年を過ごしてきた。3年目の今年は、もう少し何かをやってみたいとの発想から、野菜作りのより知識を得るため、通信教育を受講、6か月かかり修了した。今年からもう一区画借り増しし、初めてのスイカやインゲン豆や落花生等、


同じ時期にシニア大学の存在を知り、5月に入学した。学生時代は、将来のための学問だったが、シニア大学は今役に立つ講義が多く、大変ありがたく受講している。第二の青春を味わおうと思っていたが、5班の班長、学友会の副会長を務める羽目になり忙しさが倍増した。我が班は3・6班と合同で文化祭を受け持つ事になった。文化祭開催に向けて動き始めた頃、実行委員長、副委員長の二人が相次いで退学。まだお互いに授業で顔を合わすだけで気心も知れず、だれにリーダーをお願いしたらいいのか途方に暮れた。しかし、間もなくツートップを快く引き受けてくれ事なきを得た。

文化祭は、全員参加の最大のイベントであり、きめ細かな企画・立案が大事である。最初、展示物が少なく、また、演芸も最低限の各班の出し物しか集まらなかった。委員長始め我々役員も必死になって全員に現状説明をし、積極的に展示物の収集、及び演目の個人参加をお願いし、結果的には、全員の努力により、立派に文化祭を終えることができた。事務局の方からも称賛の言葉をいただいた。各持場において、仲間との強い絆を感じたのは、この時期ではなかったか。今までの苦労がとんでしまい、達成感、満足感に浸った素晴らしい思い出の一日になった。

文化祭が終わって数日後、娘夫婦の赴任地のタイのバンコクに孫の顔を見に行ったり、昔の仲間十数名と別所温泉に一泊旅行に行ったり、趣味で始めた写真撮影で写真展に5年連続入選し、浅草ビューホテルでの表彰式後、東京都美術館へ展覧会を鑑賞したり、那須への家族旅行と、本当に忙しい日々を過ごし、ようやく日常生活に戻りつつ、2013年が終わろうとしている。最近になく短く感じた一年だった。また、


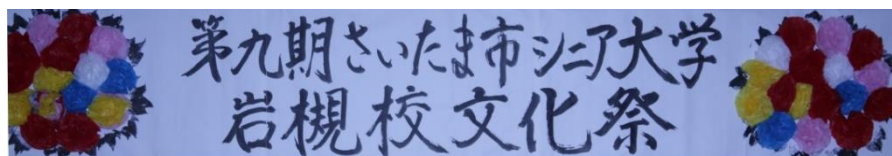
素晴らしい仲間たちと大学院へ進学するつもりであるが、もう少し自分の時間をとって、好きな本でも読みたいと思っている。
今夜は我が家の忘年会、今年の我が家の重大ニュースを、酒の肴にしながら、明るく、元気に、遅しく2014年を迎えたい。-2013.12.28 記-

文化祭を顧みて

前沢 ○○

私はシニア大学9期生として、昨年5月に岩槻校に入学しました。当初は不安と期待で一杯でした。私は5班となり総勢11名で、この一年間活動することになりました。5月13日第一回の講座が始まり、この日に役員と職務分担が決まり、そして自己紹介と氏名及び住所の確認がありいよいよスタートとなりました。そして6月24日学友会総会で会長始め役員及びクラブの設立も明記されました。そして数回、講座に出席していたところ、あれは7月22日「史跡めぐり」の説明会に出席していた時、班長の澄川さんより、5班選出の文化祭の副委員長が辞退されたので、引き受けてもらえないかとの事でした。引き受けるにあたり理由を確認したら「上から目線」が原因らしいとの事でした。我々サラリーマンの現役時代は、上からは怒られ、下からは突き上げられ、また家庭生活の大変さもあり、本当に「ストレス」の塊でありました。従って、せめてこのシニア大学だけは、利害関係のない事をと誰もが思うところであったので、非常に残念な気持ちでありました。しかし、私は引き受けました。が、すでに文化祭の実施日は、10月28日と決められていたのには驚きました。また、委員長も変わったと聞き、またまた驚きでした。しかし、初会議を会長、副会長及び文化祭の三役の6名で7月25日北浦和の県立美術館内で、見学後行いました。その後夏から秋口まで十数回打ち合わせを重ね、やっと全員に展示品や演出等の内容を添えて案内をすることができました。それから文化祭担当の3・5・6班の方々と展示会場の運営、演芸場の設営、司会進行、音響、写真、看板作製、飾り付け等具体的に役割分担を決め、当日に間に合わせる事ができました。しかし、この準備の中であえて申し上げますが、このような団体で、実行することは組織の中で自分の使命を全うすることが第一であるのに、その内容が解っているのか、いないのか知らないが、打ち合わせに欠席したり、遅刻したり、電話連絡はできなかつたり、会計等にはルーズであったり、いかにしても組織を知らな過ぎる、そういう人物に遭遇致しました。特に音響及び写真担当の方々には、大変ご苦労をおかけしたと思います。何はさておき、行事が実施されると全員が一致団結し、準備段階から張り切り気合いも入り、より一層の仲間意識が芽生え、お互いに気取らず、遠慮せず、言いたいことを言う友好の輪が広がり、やはり参加して良かったと実感したところです。

当日は、無事に大過なく終了することができた事は、会長初め全員の協力の賜物と感謝申し上げます。また、文化祭終了後、各班の絆がより一層強くなった事と思われ、来年度につなげたいと思います。



6班

まさかの「坂」

内田 ○○

よく人生には3つの坂があると言われます。登り坂、下り坂、まさか。そのまさかの坂が突然私の前に現れたのです。

入学式、課外授業、花散策の活動にと私は充実した日々を送っていました。9月になると最大のイベントである文化祭の準備が始まりました。私達6班は文化祭の担当です。各自の担当や演芸の出しものも決まり「さあこれから」という時に市の健康診断で乳ガンが発覚したのです。「まさか私がガンになるなんて」そして手術日は10月27日、なんと文化祭の前日です。万事休すです。後日6班の人達に事情を説明すると「文化祭の事は心配しないで自分の体の事だけ考えて」と気遣ってくれました。

文化祭の当日私は病院のベッドの上で演芸はうまくいったのかな、楽しいだろうなと想いを巡らせていました。退院後は「元気そうでよかった」といつもと変わらぬ笑顔で私を迎えてくれました。6班の皆さんご心配とご迷惑をおかけしました。そして本当にありがとうございました。できれば来年大学院に進み今年経験できなかった文化祭や親睦旅行に参加してたくさんの思い出を作りたいと思います。



秋になると思い出すこと

工藤 ○○

今から十五年近く前のこと、福島県西白河郡西郷村に阿武隈川の源流に沿った「西の郷遊歩道」という自然豊かな所があります。

私は早朝の霜が降りている頃から歩いていました。というアーチ式の鉄橋から見る雪割溪谷は燃えたつような朱色や黄色の紅葉で染まっていました。遊歩道には「どうだんの小径」という道がありました。

落ち葉を踏みしめて、雑木林を行くと、まだ緑々したもみじの木があり、日の当たる上の方だけ真っ赤に紅葉していて、そのコントラストは素晴らしいものでした。二時間程ゆっくり秋の景色を満喫して「どうだんの小径」に戻った時、目を疑いました。

行くときには、くすんだ色をしていたどうだんの葉が、わずか二時間あまりの間に、目の覚めるような、真っ赤の葉に変身していたのです。

今でも、秋になると、あの時の景色を懐かしく思い出しています。



巨木に癒されて

佐々木 ○○

私は、40代から夫と一緒に山登りやハイキングを続けています。若い頃は山のピークを目指す登山でしたが、互いに年を重ねるに従って、山の麓を巡るハイキングや古道歩きや神社仏閣巡りなど、歩き方も変わってきました。時々、大ゲンカをして、二度と夫とは行動を共にしまいと決心することもあったが、不思議と山歩きは続いている。そんな時、登山路であったり、神社仏閣であったりするが、巨木に遭遇することがあります。私は幹に抱き付いてみたり、耳を当ててみたり、その大きさに圧倒されて茫然と見上げたりする。木と対話すると言えば大げさになるが、不思議と癒された気持ちになります。

去年の7月に白神山地の津軽峠のマザーツリーを見てきました。ブナの巨木だが、柵で囲われたりウッドデッキで保護されたりしていて、巨木なのだが、何か素直に感動できないのです。見物人はそれぞれ順番に写真に納めて戻っていくが、私たちはそこから高倉森を経由してアクアビレッジ暗門へ下る縦走路に入りました。ほとんど歩く人もいない薄暗い樹間の中を歩き続けていると、やがてマザーツリーに劣らない巨木のブナ林が目の前に現れました。一本一本の樹には勿論名前はないし、柵もなければウッドデッキもなく、立て札もない。ただ自然の中であるがままにある。幹に大きな洞が出来ていたり、奇妙にねじれていたり、はるか高みで枝を茂らせたり、皆それぞれ形も大きさも違うのです。だけど皆、圧倒的な力で樹を見つめる私をねじ伏せるといえるのか、一種の威厳をもって私に対峙しているのです。私はこの瞬間が大好きです。やがて心が洗われていくようなさわやかな気持ちに満たされます。「人は人によって癒される」と言いますが、汗を流してたどり着いた先で、生きるエネルギーを巨木からいただくことは、巨木も人間も同じ生きとし生けるものなのだと思うこの頃です。



愛犬達との思い出

田村 ○○

1976年2月のある日、我が家にリュウという名のヨーキー犬がきた。限りなく可愛くて、家の中が明るくなった。ただかわいいだけでなく、ある時、私と娘がとても怖い場面に出くわした時に、わずか4kgの身で、私たちの前に立ち、大

きな声で吠えて守ろうとした。心強い小さな巨人（犬）であった。うれしい時、悲しい時にいつも一緒であったが1988年4月のある晩、その日はハウスで寝るのを嫌がり、娘が添い寝をしていた。未明に「リュウが死んだ」という娘の声で目が覚めた。リュウはまだ暖かかった。

1985年1月娘が自分で働いたお金で黒のトイプードルの華子を買った。彼女は音感のいい子で、娘がピアノを弾くと、それにあわせて奇声をはっしていた。本犬は歌っているつもりだったろうが、甲高い音声であった。また、私がガラス拭きをして、キュツ キュツという音がするとやめて欲しいと悲しそうに鳴いた。5歳の時ワクチン接種の翌日より意識不明となり、1週間後に天国へ旅立った。

華子より半年後にリボンという名の白いトイプードルが我が家の娘になった。顔を見るとうっとりするほどの美人でおとなしい性格。母性が強く、出産と同時に母犬が死んでしまった子犬を自分の子供と一緒に授乳から毛づくろい等わが子と同様にした。この子だけ後ろ足で立ってお願いのポーズをすることができた。かっこよかった。

10歳の時、乳がんから全身に転移、痛みが刻々とひどくなり、獣医は回復の見込みなしと判断。また、リボンが痛みのため鳴くたびに、他の2匹の犬が心配してリボンにかけよる。全員がとても可哀想であった。決断して安楽死。時は年末。今まで生きてきた中で最もつらく悲しい年の瀬、新年であった。

1986年8月華子より生まれたリサ。他の子供は売却したがリサは後ろ足が脱臼していたため家でかわいがることとした。素直で明るく愛くるしい子であった。ある時、家族全員で公園に散歩の際、一方の端から他方へ駆け足をしてしまった。リサはびりであったが、皆と一緒に走れないことに気がつき、悲しそうに鳴いた。私ははっとした。リサの足の事を忘れてしまったことを反省し、以後、全員の時は走る遊びをやめた。リサは16歳10ヶ月まで元気に生きた。



1988年3月リボンから生まれたタバサ。通常、生まれたままの尾は長いが、形のよいポンポンのしっぽにするため、生後の痛みを感じる前に、獣医にカットしてもらった。タバサはカット処理の失敗により通常より短くなってしまい我が家にのこった。末の子らしく天真爛漫でボールをこよなく愛していた。坂の上からボールをおとし、自分はそれより早く下に走ってボールを口で受け止める遊びが大好きであった。

5匹それぞれの個性があり、家族として犬と共に暮らした30年、とても充実し、楽しくすごせた。今は犬の縫いぐるみを作り、綿の中心に5匹の遺髪を入れ、水と線香で成仏をいのっている。遺骨は大宮の寺で静かに眠っている。合掌。

可愛いおばあちゃん

増田 ○○

私が思うには、歳を重ねていくことで、人の事、物事をマイナスに考えて、愚痴ばかり言っていれば、きっと暗く怖い顔になるのでは、

だけど、それぞれをプラスに考えれば、優しく、穏やかな顔になれるような気がします。

歳をとるということは、その人の性格が顔や態度に表れるのではないのでしょうか。

だから私の思いは、特別に回りの人から好かれようとは思わないけど、嫌われないように、笑いを忘れず穏やかな心を持って可愛い表情のおばあちゃんになりたいと思います。大変難しい事ですが、二美子の望み (^_^)v



シニア大学と私

渡邊 ○○

私がシニア大学の存在を知ったのは、岩槻の北部公民館で共に学んだ友達からの情報でした。話を聞いて、自分探しの何かを求め、初めて応募いたしました。

大学生活は、班の仲間にとっても恵まれて楽しく過ごすことが出来ました。特に、文化祭の時は6班全員で協力して演劇・歌などの練習にはげみ、恥ずかしながらも「あや子のお国自慢だよ」「ズンドコ」などを仲間3人で踊ることが出来、思い出に残る経験でした。

ただ、シニア大学の日と私用が重なることが多く、午後の講座だけ受ける事がたびたびあったのが残念に思います。そして、休むことが多かった私を色々と助けてくれた班の仲間にとっても感謝しております。

これからも、健康に気をつけて、学ぶ事を心がけて過ごして行きたいと思っています。

そして・・・4月からの「シニア大学院」にも参加したいと思っています。

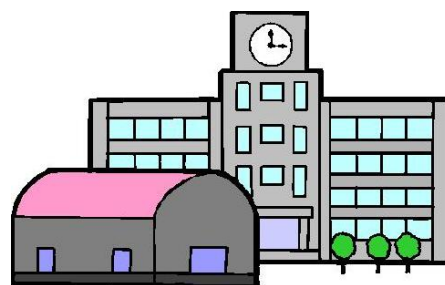


学ぶ喜びの継続

清水 ○○

平成12年3月に、教員生活（中学校）を定年退職しました。理科・社会科・技術科の授業を担当し、バスケットボール部の顧問でした。大学時代は、都内の☆☆増進会直営塾でアルバイトをしました。塾では、4年間国語担当の講師を続けました。これを併せると『教える立場』での生活が40年以上続けました。退職後には、これまでの反動で『教える立場』を離れた活動がしたいと考えました。13年3月まで、古文書読解講習・弓道実技講習・水中運動講習・落款作り講習・ちぎり絵講習・ノルディックウォーキング講習などに取り組んで来ました。『教える立場』から逆の立場となる、『学ぶ立場・学ぶ場』を求め続けた1年間となりました。

今年度は、幸いにSSUに入学する事が出来ました。これで、1年間継続的な学びの場を得る事が出来ました。来年度も大学院で継続して学ばせていただけたとの事で、とても嬉しく思っています。SSUの学習では、初めて触れる事柄がたくさん出てきます。このように、学ぶ活動を継続する事が、私が求めていたものです。SSUでは、嬉しい活動が続きます。来年度の大学院でのさまざまな活動でも、絶えず喜びを感じながら学んで行きたいと願っています。



熟年のたわごと

渡辺 ○○

あの日の後、張りつめた糸がぷつんと切れ、そして虚脱感が数日つづいた。思いおこせば、パソコンの前でしばらくナヤンデルタール、思うように進まない。単細胞でアナログ的思考回路ではしかたがないか。パソコンの先生のN氏であれば、いとも簡単なのでしょうか。とりあえず進んでみよう。そのうち明かりが見えるだろう。そうだ、今日「文化祭」は終わったのだ。ただ単に、ひまつぶしのための入校と思っていたのに「思い出」のおみやげがついた。熟年あかしの一ページにとじておこう。



シニア大学に入学して

遠藤 ○○

35年間商売（糸・手芸材料）をしていました。毎日が忙しい日々でしたが好きな仕事なので楽しかった事の方が多かったです。

家から離れて、何かをする事があまり経験がなかったので、「シニア大学」に入り、若い方達と勉強することは、自信がなく心配でした。

それが今では、班のやさしい方達に支えられて、楽しい時間をすごしています。

文化祭も楽しかった。

講義は解らない所が多々あるけど、楽しいです。

八十歳近くになって、この様な経験が出来たことは、とても幸せです。



充実の日々

熊倉 ○○

「光陰矢の如し」シニア大学の1年間はもうすぐ終わろうとしています。そして今、多くの良き友とふれあえた事に感謝をしております。思えば子育てをしながら長年仕事をし、退職後の過ごし方を模索していた自分にとって、3年間のいきがい大学の学び同様、シニア大学岩槻校では多くの宝物を得た感じがしております。もっと地元の事を知り、近くの方との交流をしたいという入学当初からの思いは叶えられました。

皆さん能力があり素晴らしい方ばかりで教室に入ると落ち着きます。一人では出来ないことでも仲間がいるから出来る。これは本当に有難い事と感謝で一杯です。

この一年間で膨らんだ多くの仲間という宝物（クラスメート）との出会いを大切に今後的人生をより豊かなものにしていきたいと思えます。地域の行事には今まで通り参加しながら少しでもお役にたてればと思っているところです。現在実践しているボランティア活動も続けていきたいと考えています。

健康であれば何でも出来るし、人との交流もできる。思いきり笑い、自分でも吃驚する程弾けたこと、そして皆で団結し纏め上げた数々が思い出です。かけがえのない友と、もうすぐ卒業の日を迎えると思うと感慨深いところです。

皆さん有難うございました。



シニア大学に入学して

渋谷 ○○

岩槻校に入学したくて三年前に申し込んだのですが、抽選ではずれ、二年前は申込日が分からず、三年目にしてやっと岩槻校の9期生として入学することが出来ました。

クラブ活動では、ハイキングクラブに入会し、前から行きたいと思っていたところに行くことが出来ました。

一回目は、鎌倉の寺々、アジサイの花を沢山見ることができました。

二回目は、奥多摩の鳩ノ巣溪谷、8月でしたので山の木陰は歩きやすかったのですが、厳しい太陽の照りつける下では大変でした。



三回目は、奥日光の小田代ヶ原探訪、11月中旬この日は、出発時は快晴でまさにハイキング日和と喜んでいました。ところが、竜頭の滝を出発して笹の葉をかき分け登るうち、天気の急変により雪の混じる小さいあられみたいなのが降り出し足元に少し積り滑りやすくなって大変でした。また、最悪だったのは、雪の降る中冷たくなったお弁当を屋根のないところで食べたことでした。忘れられない思い出となりました。

班長さんのお蔭で、今迄に行きたかったところに行けたことは本当に嬉しいことでした。

また、文化祭では、何十年ぶりという踊りがなかなか覚えられず、苦勞しました。さいわいにも、7班に踊りのベテランがいらして指導を受け、みんなの努力により無事乗り切り楽しく終えることができホッとしました。その他、証券取引所・富岡製糸場とか群馬自然史博物館を見学に行き、いろいろと勉強になりました。

本当にシニア大学に入れたことで、多くの方々との出会いなど良い経験ができ、これからの人生を明るいものにしてくれそうです。

第2の青春

内藤 ○○

シニア大学に入学して感じたことは、ここに集う方々は、人生に前向きな人達の集りだということ、パワーがあります。

学生時代にタイムスリップしたようで、ワイワイ楽しい、一人一人が経験を重ねていらっしやるだけに、それぞれに個性的で、行事を重ねるごとに、役者がそろっているなど感心しています。

班も同様、始めは、ぎごちなかった関係も、回を重ねるごとに、そして、文化祭に向かう中で一気に距離が縮まったように思います。

部活は、いつまでたっても初心者のパソコン操作に今度こそはと、パソコンクラブに所属しましたが、これまた、出席がなかなか叶わず、半分は休んでしまい初心者の域を脱することができない、今後に期待・・・あきらめない事、これが熟年パワー。



やりたい事があることは大切、これから！これから！

皆にまじり、勇気と力をもらい、夢を持って第2の青春にプラチナの輝きを！！

仲間そして絆

三品 ○○

私は、シニア大学岩槻校9期生として多彩な才能のお持ちの方々と机を共にし、楽しませて頂いております。

今回4班の皆様、楽しい旅行を企画して頂き有難うございました。今日11月21日は朝から晴天に恵まれ最新型の大型バスで岩槻を9時出発、司会の坂本さん「下ネタ葱と下仁田ネギ」で全員爆笑、そして早速浪江委員長から歌のクイズが始まった、少しヒントを出してくれてはいるが、難しかった、クイズの景品は浪江さんだから出来た素晴らしいものでした。杉山さんの「歌舞伎調」兎と亀の替え歌に感動して聞き入りました、私もそっと口ずさんでみた。皆さん「ただただ」すごい。

世界遺産に登録を目指す富岡製糸場で、初めて全員の集合写真、これで皆さんの名前と顔を覚えられるかな？早く覚えたい。

いよいよお待ちかね「割烹かわらや」で昼食、私好みのお料理やフルーツなど、思わずパチリと写真におさめた。群馬自然史博物館、大きな恐竜や化石など、今度は1日かけて孫と一緒にいきたい。

車窓からは世界遺産となった富士山や紅葉した山々を眺めながら「お楽しみビンゴゲーム」特別賞として江原さんから「下仁田ネギ」の提供、ネギで始まりネギで閉めた素晴らしい思い出の旅行となった。こんなに笑いのある旅行、最高に楽しかった。文化祭から更に絆が深まった様に思います。



「割烹かわらや」

4班の皆様本当にご苦労様でした、そして有難う御座いました。

シニア大学に入学して

渡部 ○○

私は、毎日プールへ通うのが日課で、もう9年になります。昨年通っていた友人から、大学の話聞き、私も入学したいと応募したものの多少不安もありましたが、未知の世界に飛び込むワクワク感と、期待のほうが大きかったものです。

入学して、びっくり、色々な授業を受けて、この歳になっても知らない事の多さに驚き、大変勉強になり、また、年齢的には、中間くらいだと思いますが、とにかく皆さん元気でパワフル、意欲満々の先輩方に接して、多種多様な分野の事にも、頑張るといふより、楽しんでおられる様子を見るにつけ聞くにつけおおいに刺激も受けました。

私も色々な事に興味もあり、気持ちもかなり若いつもりでおりましたが、大学の方々と接していると、自分自身も活性化して行くのを感じました。正直学生の時以来、やっていない分野の授業となると、難しくまた昼食後ともなると、眠気も襲ってガクツとなる事もあり、こんな時に学生なのかなあと思ったものです。この大学での様々な経験は、私のこれからの人生において、素晴らしい宝物だと感じています。

「命」には限りがありますが、生きている限り何事にも逃げず、受け止めていつでも吸収できる柔軟な「脳」でいたいと思います。

最後に、7班の方々と様々な経験、体験をさせて頂き、特に一丸となれた文化祭での演芸練習、チームワークの楽しさを味わえた事は、大切な思い出です。一番出来の悪い班員でしたが、班長、副班長、仲間の皆様大変お世話になりました。この経験を生かし更に元気で若々しく、楽しいシニアライフを過ごして行きたいと思っています。



第9期生の皆様、事務局の皆様、本当にお世話様でした。

皆様のご健康を祈念して心より御礼申し上げます。

シニア大学の思い出

樫木 ○○

私の入学動機は、定年退職後、趣味ひとすじ写真・テニスと楽しんでおりました。しかし、写真撮影のテーマに行き詰まりを感じていた時期、友人が「生きがい大学」へ通い始めたので、私もそのうち何かをやらなくてはと思っていたところ、『今でしょ！』と、気が付き早速申し込んだところ、入学を許可されました。

入学後の、楽しみは班全員での昼食会と楽しい会話でした。しかし、カリキュラム

が進むにつれ、いろいろな行事が入ってきました。校外研修等はまだまだ、そのうちに文化祭の演芸について話題が広がり、まず、何をするか昼食の時間に意見の交換が続きましたが、こと演芸に関しては、男子はカヤの外、女性群の決定に従うしかありませんでした。楽しくできればと思っていましたが、踊りとなるともうダメ、特訓を受けてやっと何とかものになりました。踊りの指導・衣裳の制作と骨を折って下さった方々にお礼申し上げます。

この文化祭を機に、班の絆が一層深まったような気がします。

文化祭を担当された3・5・6班、親睦旅行担当の4班の皆さんのバイタリティー溢れる司会・進行で楽しく愉快的思い出が出来ましたこと感謝いたします。



タイ・バンコク旅行記

杉山 ○○

去る、11月23日、勤労感謝の日に妻と成田空港からの昼の便で、タイ・バンコク・スワンナプーム空港に到着した。迎いの娘と孫に出会えてホッとした、孫は半年前よりは成長していた、一歳十か月である。

バンコクの街は、川と運河に沿って発達し、合流点に寺院や学校、そして市場がある。暑い街だが涼しい川風が吹いている。

買い物は徒歩で、アソーク駅ビルへ娘の主人と五人で出かけた、日曜日だったので店内は混雑していて客は西洋人・東洋人・日本人そして現地人とかなり賑わっていた。

電車でチットロム駅前の伊勢丹に買い物に行った、電車は車体全体に絵画が描かれていて日本では見られない趣があった。又、車中で孫がナナ駅に着いたら「ナナ・ナナ」と叫んだので乗客が笑った。

チャオプラヤー川は、バンコク市街のやや西側を南北に流れ下っている、この川を上り下りするのが「チャオプラヤーエクスプレス」という乗合ボートです。



川風に吹かれながら林立するビルを眺める船旅です。プール付きのリゾートホテルに着きジャングルに囲まれたプールは大人・小人用に分かれていた。プールサイドには白人達が日光浴をされていてその脇で茨城弁の団体が泳いでいた。

予定の日程を終え一路、成田空港へ。

岩槻校の思い出

牧野 ○○

多彩な講師の皆さんの講義や、校外活動では久しぶりに日本橋・東銀座・築地等を巡り晴海・有明の変わり様には驚かされた。

美術鑑賞を含めたカリキュラムには感心しました。班ごとに企画する文化祭での演目はなかなか決まらなかったが、我が7班は三品さんの提案でダンス体操に決定。未経験者が多く不安だったが、熱心な指導と特訓で何とか形になり本番に臨む。しかしすっかり上がってしまった、小生のドジの連続で会場の皆さんに失笑を買ってしまった。穴があったら入りたい気持ちでした。

群馬への親睦旅行では4班の皆さんのアイデアには敬服です。なだらかな山裾の赤城山、妙義山の険しい岩の向こうには雪を戴いた浅間山が。帰路も夕日を背にした富士山がクッキリと見えて最高だった。昼食も本来なら禁断のアルコールまで出て美味しかった。

所属させてもらった麻雀クラブでもこれ又チョンボとポカの牧野として名を馳せる有様、メンバー諸兄の寛大な気持ちに救われ最後まで続けられそう。小耳に入っただがこの文集は業者に発注するものと思っていたが、何と2班の皆さんが編集から製本までやられるとのこと、さぞかし大変なお仕事と思いますが宜しくお願い致します。大学生活も残りわずか、折角できた仲間達との別れも近い。『會者定離は必定』と古来より云う。互いの息災を祈りたい。



(岩槻区ヌウ)

投稿ありがとうございました。
なお、イラストなどを貼り付けましたので、ご了承願います。

花散策クラブ紀行

部長 羽廣 ○○

私達花散策クラブ員は女性11名で始まりました。2回目からは2名加わって13人に成りましたのでクラブ員を2班に分けて、それぞれ責任者を決めました。行き先、集合場所、時刻を決めたり、みなさんとのコミュニケーションをとっていただきました。お二人さんにはお世話に成りありがとうございました。

第1回目 6月3日 岩槻公園 公園集合 10・00 10名

この日は絶好の散策日和と成りました。公園の池は濃いピンクの花がいっぱい咲いてました。まだ残っているピンクの五月も美しかったです。みんなでココスのランチを楽しみました。

第2回目 6月17日 本土寺 岩槻駅9・24集合 10名

この日も天候に恵まれました。入って直ぐに「五十塔」の前で集合写真をパチリ。沢山の水色、紫の紫陽花が所狭しと私達を迎えてくれました。花菖蒲もまだまだ沢山の花をつけていて美しい姿を競っていました。

第3回目 7月15日 行田の古代蓮 岩槻駅7時41分集合 11名

この日も朝から快晴の遠足日よりとなりました。天然記念物に指定されている2万株ある古代蓮はピンクが多く、白、黄色とそれは見事に大きくて豪華です。世界の蓮も見る事が出来ました。蓮の里会館から望む「田んぼアート」も素晴らしかったです。敷地内の名物「うどん」のランチを皆で楽しみました。

第4回目 9月19日 向島百花園 9人

この日も台風一過の素晴らしい好天に恵まれました。気取らない社民的な公園は萩のトンネルで有名です。まだ早かったのか少し寂しい風情でした。東屋で車座に成ってのお弁当は格別美味しかったです。Wさんが差し入れてくださったゴーヤのお菓子が美味しくて皆でレシピを教わりました。

その後スカイツリーが近かったので足をのばし、展望台の360度のパノラマを楽しんできました。

4回とも絶好のお天気にも恵まれて楽しい遠足気分を味わえました。皆さんありがとうございました。



史跡めぐりクラブ 活動報告

幹事 酒井・関谷

5月27日 クラブ活動結成で集まったメンバーは26名、史跡めぐりとは言え提唱者が居るわけでもなし、どう活動するのか暗中模索状況の中、幹事を仰せつかり さてどう活動しようか？ 思い浮かんだのが 岩槻なので「岩槻城の歴史」から入ったらと提案、なんとなくその方向で合意（集まった皆さんは訳も分からず、意見も出せず、なんとなく？）。

次回(6/10時業終了後)の会合で活動の確認事項、活動計画(4回の行事)の承認を頂く。

第1回行事 7月22日 「岩槻城の歴史」コミセン教室 講義(石川講師) 21名参加

7/22 今年猛暑が続き、日中の散策はリスク大、体力を考え室内講義とした。

第2回行事 10月2日 「岩槻の史跡めぐり」台風22号接近 風雨強く当日中止連絡

第3回行事 11月25日 「平林寺の史跡めぐり」 18名参加

新座駅から現地ガイド案内により「野火止め用水」及び「平林寺内」を散策、特に13万坪の広さをほこる平林寺境内はもみじの紅葉最盛期 参加者は大満足。

参加メンバーの参加感想文（一部抜粋）

田村さん記

田山花袋が「武蔵野の昔の匂いを嗅ぐには、野火止の平林寺付近が良いね」と語った豊かな自然に囲まれた平林寺に行ってきました。（中略）

境内は国の天然記念物で有形文化財としての評価も高い、岩槻から移築されたままの総門を入ると、山門、仏殿、中門、本堂と一列に並んで迎えてくれる。その中を歩いている内に、立派な台座の上にいらっしゃる地蔵様を見て、ふと思い出した、先日岩槻区の平林寺跡を歩いた折り、片割れ地蔵と言って平林寺を移す時、重くて荷車に積みきれず、置いていかれて現在は路傍の片隅に寂しく立っている地蔵様の事を。しかも新座のガイドさんは「おいてきた地蔵様、今は行方不明です」と説明したので再び驚いてしまった。（中略）

紅葉の折りに平林寺を訪れて、緑 黄 赤の美しいコントラストを見てとても幸せな気分です。来春は新緑を楽しみに、また行きたいと思っています。

第4回行事 2月17日(月)

「氷川神社周辺の史跡
めぐり」予定



11月25日(月)紅葉の平林寺散策

ハイキング部活動報告

部長 松井 ○○

部員は全部で5名である。入学時のアンケートでは7名の方がいましたが、初顔合わせの時点から退部者が出ました。部の取り決めとして(1)2ヵ月に1回開催 (2)交通手段は公共機関を利用する事といたしました。



以下開催概要を報告いたします。

第1回 古都 鎌倉めぐり 6月17日(月) 参加者 5名

大宮駅から湘南新宿ラインで北鎌倉駅へ。さすがに紫陽花の季節であり大勢の人出であった。「東慶寺」に始まり紫陽花で有名な「明月院」に詣で「建長寺」で小休止、「鶴岡八幡宮」を参拝し、若宮大路の食事処で昼食。最後の目的地「成就院」を目指す。紫陽花の長い階段を上り、遥かな由比ヶ浜を眺めお参りをする。梅雨の合間の暑い最中で少々きつかったと思うが皆無事に歩き通した。江ノ電で鎌倉に戻り、湘南新宿ラインで帰る。往復とも早いうちに全員坐ることもできて良かったと思う。

第2回 奥多摩 鳩ノ巣溪谷めぐり 8月27日(火) 参加者 3名

大宮駅始発の八王子行きで立川、青梅で乗り換えて古里駅で下車。青梅街道を奥多摩方面に向け歩き出す。寸庭橋を渡り多摩川に降り、前日が雨であったので次の尾根道への急な登りも足元に注意して歩く。尾根道に出て爽やかな涼しい風に吹かれてホッと小休止。反対側に降り雲仙橋より見応えのある鳩ノ巣溪谷を眺めて、さらに急な坂道を降りて溪谷沿いに出る。鳩ノ巣小橋を渡り対岸の遊歩道を進む。大きな岩の上で、水を眺めながらの昼食。自然を眺めながらのおにぎりは格別の味がする。歩行を再開し白丸ダムに着く。以前であればそのまま遊歩道を歩くことができたのだが、東日本大震災の影響で歩けずに、堰堤を渡り対岸の急な階段を上り、しばらく歩き数馬峡橋を渡り再び溪谷沿い歩く。最後も車道を歩き奥多摩駅へ。夏の歩行はきつい。

第3回 奥日光 小田代原めぐり 11月13日(水) 参加者 4名

春日部駅より東武日光駅へ。途中車窓から富士山が遠望されるほどの快晴であったが、徐々に雲が出てきた。バスで龍頭の滝に向かうが明智平あたりでは風花が舞っていた。滝からは道や脇のクマザサ等に薄っすらと雪が積もっている中を滑らないように足元に気を付けて歩く。目的地の小田代原に着き、終わりを告げた草紅葉を眺めながら木道を行く。泉門池で楽しかるべき昼食であったが、雪が本降りとなり寒く早々に湯滝そして湯ノ湖を目指す。その後も雪が降ったり止んだりする中、帰路の始発バス停湯元に着くが、ここでまた本降りとなる。東武日光駅に向かうと早々に雪は止む。全行程を通じ流石にこの時期で観光客は少ない。下今市で乗り換えて帰路に着く。

時期的に見て紅葉は既に遅いと思っていたが、思わぬ雪に遭い、冬到来の奥日光の景色が眺められて、これはこれでまた楽しい思い出となった。

少ない活動でしたが、不慣れな私と行動を共にしていただき、部員には感謝です。

📖 パソコンクラブの紹介 📖

部長 浪江 ○○

パソコンクラブは、平成25年6月17日のオリエンテーションから活動を始め、今年度は18回の授業を予定しています。詳細は次のとおりです。



- 1 クラブ員 15名（男性4名・女性11名）
- 2 開催日時 月2回 月曜日の9時30分～11時30分
- 3 開催場所 さいたま市桜木町1-185-2 のびのびプラザ大宮3階
さいたま市シニアユニバーシティ活動ステーションActiveRoom
(今年度に竣工した主に保育施設の6階建の新築建物です。)
- 4 授業内容 今年度は、Wordの文字入力～画像の基礎を学び、「名刺や年賀状」を作成しました。
- 5 講師 3名+浪江部長がサブ講師として協力
講師は男性1名と女性2名です。皆さん優しい方でパソコン超初心者の方に対しても、親切に分かりやすく指導して頂いております。
- 6 その他 (1) OSはwindows7、Word2013を使用しネット接続が可能です。
(2) 授業料は、1授業6,000円（室料・PC使用料は無料）
(3) 授業終了後は、大宮駅周辺の居酒屋などで昼食会を開催しており、授業よりも昼食会が楽しいという方がいます。



授業風景

ゴルフクラブ活動記録

部長 町田 ○○

当クラブはゴルフ好きな男性メンバー6人（レギュラーメンバー4人、助っ人メンバー2人）で発足しました。皆さんゴルフのキャリアは其々ですがゴルフに対する情熱と腕前は相当なもので所謂「少数精鋭？」の集団です。

昨年の部活は7月から12月にかけて部員のホームコースをローテーションする形で計4回行い部員同士の親睦を深めました。

第1回目：7/5 鷹ゴルフ倶楽部

梅雨末期で蒸し暑い雨の中での開催となりましたが18ホールを無事にホールアウト。最初の部活ということで皆さんやや硬さが見られましたが徐々に打ち解けて楽しいラウンドとなりました。

第2回目：9/18 関越ハイランドゴルフクラブ

群馬県高崎市に場所を移しての第2回目の部活。ゴルフはさて置き高台のホールから見る浅間山や上毛3山の絶景を思う存分楽しみました。

第3回目：11/11 芳賀カントリークラブ

午後から雨になり残念ながら1ホールを残してプレイ中止。（もしプレイしていたら最後の1ホールは全員パーだったかも知れませんが？）ゆっくり風呂に入り十分体を温めてから帰宅しました。

第4回目：12/16 関越ハイランドゴルフクラブ

ゴルフは寒さと強風のため思うようなショット/パットが打てず皆さん大苦戦でしたが卒業記念文集に載せる記念写真の撮影を行い1年締め括りの部活を無事終了しました。

今年も年6回程度開催予定ですので入部希望の方は是非ご連絡下さい。

60～70台にしてはなかなかのフォーム・・・そう思いませんか？



麻雀同好会活動報告

代表 前沢 ○○

マージャンの楽しさと反省会の楽しさを！！

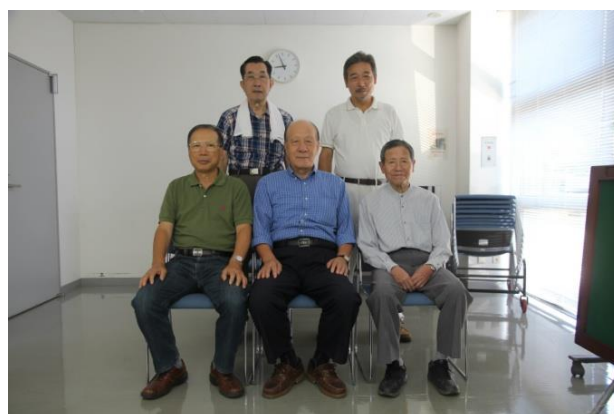
昨年6月15日に一回目を開催し昨年は計10回を重ねることが出来ました。毎回5人のメンバーが全員参加する中でみな現役時代の感が少しずつ戻り大変楽しい時間が過ごせたと思っています。

マージャンは囲碁や将棋と違い「先を読む」とは無縁で「感」と「運」が100%のゲームでありゴルフと同様全て自分の責任であります。従って快感とストレスは紙一重のゲームです。だから面白い訳です。

特にゲーム中では個人個人の個性が出ています。まず長老のMさん、ゲーム中は大変物静かな紳士でありながら「捨てパイ」のときなど少し勿体つけるような仕草で打つのが何とも云えない思いであります。Kさんはメンバー中一番若く元気であり鹿児島島の西郷さんを思い出し豪快な「オイドン」打ちをする方です。Mさんは銀行出身だけに計算は早く又ポーカーフェイスであり立派なギャンブラーになり切っているところがかっこいいです。いつも道具持参でのTさんはサウスポーで打ち「ペンチャン」でも「カンチャン」何でもござれのすぐリーチなので大変手強い存在です。

最後に私ですが現在までは慈恩寺観音菩薩がついているようなので何とか良い成績でいられています。

この様に色々な考え方のメンバーとゲームをしておりますが毎回必ず反省会を実施しております。何と云ってもこれが最高です。この様なクラブですがいつでも参加OKですので申し出下さい。



岩槻校カリキュラム

期 日	会 場	講 座 内 容		当番
		1時間目(10:00~11:30)	2時間目(13:00~14:30)	
5月 7日(火)	市民会館おおみや	入学式		
5月13日(月)	ワッツコミセン	今後の学習の進め方について 自己紹介	学生自治会の結成と 年間事業計画について	1
5月27日(月)	ワッツコミセン	さいたま市の福祉政策 高齢福祉課 岩瀬係長	クラブ活動の結成	2
6月10日(月)	ワッツコミセン	環境問題と私たちの暮らし 環境アドバイザー 田野 實	さいたまの歴史 大村 進	3
6月24日(月)	ワッツコミセン	資産運用と円満相続 ファイナンシャルプランナー 茂木 一晃	事例やデータから紐解く健康長寿大作戦 東京ニュービジネス協議会 木村 大地	4
6月27日(木)	東京	東京証券取引所と日本科学未来館の見学		
7月 1日(月)	ワッツコミセン	日常生活の健康 日本成人病予防協会 金岡 健二		5
7月25日(木)	県立近代美術館	埼玉県立近代美術館の見学		
7月29日(月)	ワッツコミセン ミニホール	楽しい音楽① 福井 克明		6
8月22日(木)	市民会館おおみや	市長講話・講演 講演(財)日本交通安全教育普及 協会 専務理事 川口 雄		7
9月 9日(月)	ワッツコミセン	身近な法律 日本大学教授 山川 一陽	笑いヨガ 日本笑いヨガ協会 高田佳子	1
9月30日(月)	ワッツコミセン	「からだ漢字」の成り立ちと広がり 漢字研究家 藤井 迪昭	異文化理解／イスラム世界 早田 正明	2
10月 7日(月)	ワッツコミセン	かしこい消費者 悪徳商法被害者対策委員会 塚 次夫	一皿を仕事にできる幸福 仏料理シェフ 毛塚 智之	3
10月21日(月)	ワッツコミセン	高齢者の健康 管理栄養士 小坂谷 典子	パドルジャークス体操 パドルジャークス体操協会	4
10月28日(月)	ワッツコミセン	文化祭		
11月18日(月)	ワッツコミセン	高齢者の交通安全 財)日本交通安全普及協会	暮らしの税情報 税理士 藤間 紀弘	5
12月 2日(月)	ワッツコミセン	公共施設マネジメント計画 さいたま市行財政改革推進本部	校友会連合会の講座	6
12月20日(金)	市民会館おおみや	上手な話し方・聞き方 落語家 三笑亭 笑三		7
1月20日(月)	ワッツコミセン	楽しい音楽② 福井 克明		1
2月21日(金)	文化センター		合同講座 講演とパネルディスカッション	2
3月28日(金)	市民会館おおみや	卒業式		3

演芸プログラム



じじ ばばの底ちから だぁぁぁー ??

開会式 13:00

開会セレモニー司会 文化祭執行副委員長

前 澤

開会宣言 文化祭執行委員長

渡 辺

会長挨拶 第九期学友会会長

羽 廣

来賓挨拶 NPO法人事務局

五藤様

(さいたま市シニアユニバーシティ事務局長)

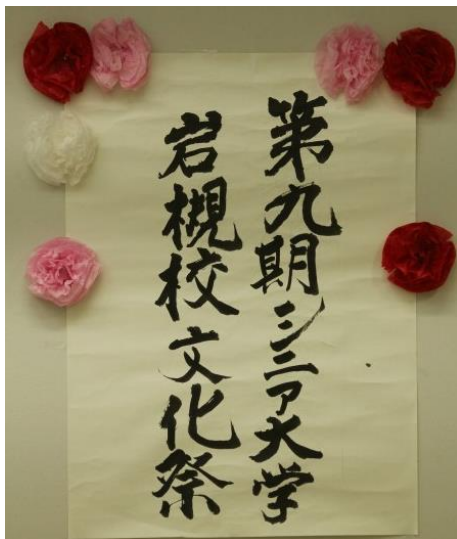
演芸開始

順番	演技班	演技予定	演 目 内 容
1	3	13:10	合唱2曲「麦畑」「川の流れるように」
2	4,5,6	13:20	高山静江、渡辺トミ子、岩吉和子様の踊り あや子のお国自慢だよ、きよしのズンドコ節
3	7	13:30	人生カラオケ音頭、体操(365歩のマーチ)
4	5	13:40	「クイズで当てて宝くじをゲットしよう」
5	2	13:55	合唱2曲「花は咲く」「振り込め詐欺だよおっかさん」
6	4	14:05	替え歌2曲「高校三年生」「365歩のマーチ」
7	3,5	14:15	合唱 羽廣会長、田中ヨシ様「花は咲く」
8	1	14:25	民話オペレッタ「みるなの座敷」
9	6	14:45	踊り「水戸黄門」サプライズ「サザエさん」
10	3	14:55	ソロ 羽廣会長 歌曲「ラルゴ」ヘンデル作曲 「初恋」石川啄木作詞
11	全員	15:05	飛び入り参加 二胡演奏 ビンゴゲーム

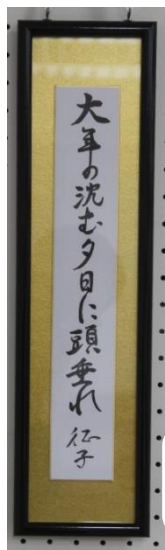
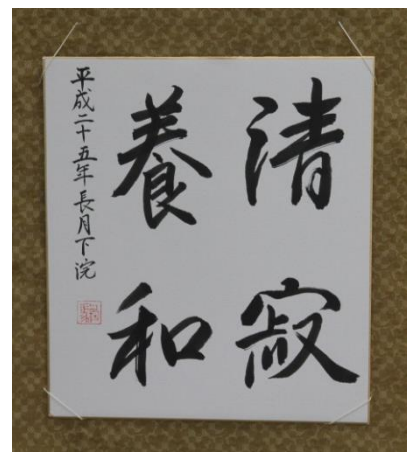
番外編 九期全校生大合唱「今日の日はさようなら」「見上げてごらん夜の星を」

閉会式 15:40

閉会宣言 三品副会長



平成 25 年 10 月 28 日 開催



総数 70 点以上の出品で大変賑やかでした。
クラブ活動も活発に実施されていました。



いずれ劣らぬ傑作ぞろいで
選択に苦労しました。
一部のみ掲載しました。



第九期さいたま市シニア大学 岩槻校文化祭



御来賓の皆様と文化祭実行委員



7班 人生カラオケ音頭 年に似合わず迫力満点



2班混声合唱団の「花は咲く」他



3班 合唱 麦畑 川の流れるように



4班 替え歌で青春を謳歌した



5班 若かりし頃の顔当てクイズ



6班 サプライズ サザエさん



1班 オペレッタ 「みるなの座敷」

他にも個人演技など多数ありました



群馬 富岡製糸場前にて記念撮影



明治5年建築 長さ 104.4m 幅 12.3m 高さ 14.8m 東繭倉庫「木骨煉瓦造」重要文化財



操糸場 世界最大であった



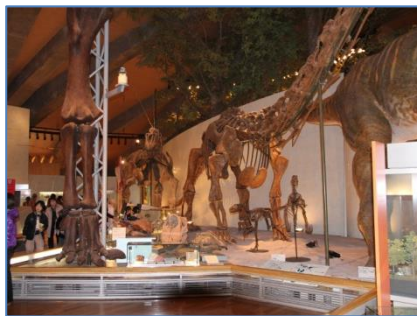
「かわら屋」での昼食会



群馬県立自然史博物館



群馬県立自然史博物館前での記念撮影 榛名山をバックに



親睦旅行は4班の皆さんのアイデアあふれる企画でこの上ない楽しい旅となった。司会の坂本さんの軽妙な話術は天下一品。思い出満載の記憶に残る一ページであった。下ネタ葱よ。今一度・・・。

9期の素晴らしい仲間たち



1 班



2 班



3 班

授 業 風 景





4 班



5 班



6 班



7 班

編集後記

このほど卒業記念文集の編集を終え皆さまのお手元にお届けできる運びになりました。文集委員一同ホット一息つき安堵しているところです。

皆さまに「テーマは自由です、500字程度で、期限までに」と寄稿をお願いしましたところ、期限までにほぼ全員の68名から寄稿いただきました。私どもの当初からの願いが叶い嬉しいかぎりです、ご協力いただきました学友の皆さまに感謝申し上げます。

また、パソコン活用・写真撮影・編集・印刷・製本作業にご尽力いただきました文集委員の方々、各班でCD入力を手伝ってくださった方々にお礼申し上げます。

会長はじめ役員の方々には節目節目で編集に参画していただき学友会としての記念文集に仕上げることができました。ご支援ありがとうございました。

この文集は、入学の動機、感銘を受けた講義、盛り上がった文化祭・親睦旅行、クラブ活動の思い出、仲間との出会い・絆などの記述、貴重な体験記、忘れられない思い出の場面や可愛い孫、愛犬・猫などの随想、紀行文、俳句など多岐に亘っていて、いずれも視点が前向きの力作です。読後には、今までには気づかなかった学友の一面も発見されるのではないのでしょうか。

なお、この文集には見る思い出として、文化祭、親睦旅行の写真を編集していますが、紙面の都合で限られた写真の掲載になりましたことをご了承ください。

結びに、寄稿いただいた学友の皆さま、編集にご尽力いただいた関係者の皆さまに重ねてお礼申し上げますとともに、この文集が永く皆さまの手元にあって、学友間の親睦が更に深まり「すばらしき仲間たち」の交流の輪がますます拡大・成熟していく一助になりますことを願って編集のあとがきとさせていただきます。

文集委員長 今井 ○○

記念文集委員会（各班文集委員と文集担当の2班全員で構成）

委員長 今井○○ 副委員長 黒川○○ 会計 澄川○○

《各班文集担当委員》（学籍番号順）

1 班 蔵部○○ 石塚○○

2 班 荒井○○ 岡本○○ 中山○○ 森○○ 小山○○ 瀧田○○
中澤○○ 町田○○

3 班 中山○○ 松井○○

4 班 浪江○○

5 班 駒宮○○ 澄川○○

6 班 田村○○ 清水○○

7 班 内藤○○ 渡部○○

卒業記念文集

発行日

平成26年3月

編集

第9期記念文集委員会

発行

シニア大学岩槻校第9期学友会
